

発委第 3 号

令和 6 年 2 月 2 8 日提出

淡路市議会議長
土井 晴夫 様

提出者 淡路市議会議会運営委員会
委員長 松本 英志

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則制定の件

上記の議案を別紙のとおり、淡路市議会会議規則第 1 4 条第 2 項の規定により提出します。

(提出理由)

令和 5 年 4 月の地方自治法の一部が改正され、地方議会に係る手続きのオンライン化が可能となった。

この改正により、文書等により提出が求められているもの（議案、請願等）や文書等によることが求められている手続（出席催告等）について、会議規則及び委員会条例に規定することにより、オンライン化が可能となる。

これらを踏まえ、本市議会においても、関係条例等を整備する。

淡路市議会規則第 号

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則

淡路市議会会議規則（平成17年淡路市議会規則第1号）を次のように定める。

目次中「第8節 表決（第68条—第78条）」

を「第8節 表決（第68条—第78条）」

第9節 公聴会及び参考人（第78条の2—第78条の8）」

に、「第9節」を「第10節」に、「第88条」を「第88条の2」に、「第161条」を「第161条・第161条の2」に、「第163条」を「第162条の2—第163条」に改める。

第9条第2項本文中「ときは」の右に「、会議に宣告することにより」を加え、同条中第3項を第4項とし、第2項の次に次の1項を加える。

3 前項の規定にかかわらず、議長は、会議中でない場合であって緊急を要するときその他の特に必要があると認めるときは、会議時間を変更することができる。

第15条中「同一会期中は」を「同一会期中は、」に改める。

第26条中「行う宣告の」を「行う」に改める。

第29条中「投票用紙を投票箱に投入」を「投票」に改める。

第31条に次の1項を加える。

4 投票の効力に係る法第118条第6項の規定による通知に関し必要な事項は、議長が定める。

第45条第2項中「会議」を「議会」に改める。

第46条第2項中「ときは」の右に「、議会の承認を得て」を加える。

第1章中第9節を第10節とし、第8節の次に次の1節を加える。

第9節 公聴会及び参考人

（公聴会開催の手続）

第78条の2 会議において公聴会を開く議決があつたときは、議長は、その日時、場所及び意見を聴こうとする案件その他必要な事項を公示する。

（意見を述べようとする者の申出）

第78条の3 公聴会に出席して意見を述べようとする者は、文書であらかじめその理由及び案件に対する賛否を、議長に申し出なければならない。

（公述人の決定）

第78条の4 公聴会において意見を聴こうとする利害関係者及び学識経験者等（以下「公述人」という。）は、前条の規定によりあらかじめ申し出た者及びその他の者の中から、議会において定め、議長から本人にその旨を通知

する。

- 2 あらかじめ申し出た者の中に、その案件に対して、賛成者及び反対者があるときは、一方に偏らないように公述人を選ばなければならない。

(公述人の発言)

第78条の5 公述人が発言しようとするときは、議長の許可を得なければならない。

- 2 公述人の発言は、その意見を聴こうとする案件の範囲を超えてはならない。

- 3 公述人の発言がその範囲を超え、又は公述人に不穏当な言動があるときは、議長は、発言を制止し、又は退席させることができる。

(議員と公述人の質疑)

第78条の6 議員は、公述人に対して質疑をすることができる。

- 2 公述人は、議員に対して質疑をすることができない。

(代理人又は文書による意見の陳述)

第78条の7 公述人は、代理人に意見を述べさせ、又は文書で意見を提示することができない。ただし、議会が特に許可した場合は、この限りでない。

(参考人)

第78条の8 会議において参考人の出席を求める議決があったときは、議長は、参考人にその日時、場所及び意見を聴こうとする案件その他必要な事項を通知しなければならない。

- 2 参考人については、前3条の規定を準用する。

第2章第1節中第88条の次に次の1条を加える。

(出席委員に関する措置)

第88条の2 この章における出席委員には、淡路市議会委員会条例（平成17年淡路市条例第263号。以下「条例」という。）第15条の2第1項の規定により、映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができる方法（以下「オンラインによる方法」という。）で委員会に出席している委員を含むものとする。

第94条中「要する」を「得なければならない」に改め、同条に次のただし書を加える。

ただし、会議の話題となる前においては、委員長の許可を得なければならない。

第111条第1項中「議員」の右に「（以下この条例において「委員外議員」という。）」を加え、同条第2項中「委員でない議員」を「委員外議員」に改め、同条に次の2項を加える。

- 3 前2項の場合において、条例第15条の2第1項の規定により、委員会が

オンラインによる方法で開かれているときは、委員外議員は、オンラインによる方法で説明し、若しくは意見を述べ、又は発言することができる。

- 4 委員外議員は、オンラインによる方法で説明し、若しくは意見を述べ、又は発言することを希望するときは、あらかじめ委員長に届け出なければならない。

第119条中「職員に朗読させる」を「その写しを委員に配布する」に改め、同条に次のただし書を加える。

ただし、やむを得ないときは、朗読をもって配布に代えることができる。

第121条中「については」を「については、」に改める。

第123条に次のただし書を加える。

ただし、条例第15条の2第3項の規定により、オンラインによる方法で出席している委員は、この限りでない。

第133条第1項中「、請願者の住所及び氏名（法人の場合にはその名称及び代表者の氏名）を記載し、請願者」を「及び請願者の住所（請願者が法人の場合にあっては、その所在地及び名称）を記載し、請願者（請願者が法人の場合にあっては、その代表者）」に改め、同条第4項中「承認」を「許可」に改める。

第135条第1項ただし書を次のように改める。

ただし、常任委員会に係る請願は、議会の議決で特別委員会に付託することができる。

第135条第2項中「前項の規定にかかわらず、議長は、特に必要があると認めるときは、所管の常任委員会に係る請願は、議会の議決で、特別委員会に付託」を「委員会の付託は、議会の議決で省略」に改め、同条第3項中「みならず」を「みなし、それぞれの委員会に付託する」に改める。

第136条に次の2項を加える。

- 3 前項の場合において、条例第15条の2第1項の規定により、委員会がオンラインによる方法で開かれているときは、紹介議員は、オンラインによる方法で説明することができる。

- 4 紹介議員は、オンラインによる方法で説明することを希望するときは、あらかじめ委員長に届け出なければならない。

第137条第1項中「意見を付け、」を削り、同条中第2項を第3項とし、第1項の次に次の1項を加える。

- 2 委員会は、必要があると認めるときは、請願の審査結果に意見を付けることができる。

第139条中「、その内容が請願に適合する」を「議長が必要であると認める」に改める。

第146条中「外とう、襟巻、つえ」を「コート、マフラー」に改め、同条ただし書中「議長の許可を得たときは」を「会議への出席に必要と認められる物であつて議長にあらかじめ届け出たものについては」に改める。

第152条の見出し中「資料等印刷物」を「資料等」に改め、同条中「資料、新聞紙、文書等の印刷物」を「資料等」に改める。

第156条中「議決することは」を「議決することが」に改める。

第7章中第161条の次に次の1条を加える。

(協議等の場の開催方法の特例)

第161条の2 前条の協議等の場については、大規模な災害、重大な感染症のまん延その他やむを得ない事由により、その構成員が開催する場所に参集することが困難と認めるときは、オンラインによる方法で協議等の場を開くことができる。

2 前項の場合において、開催方法その他必要な事項は、委員会条例の例による。

第9章中第163条の前に次の2条を加える。

(電子情報処理組織による通知等)

第162条の2 議会又は議長若しくは委員長（以下この条及び次条第1項において「議会等」という。）に対して行われる通知のうちこの規則の規定において文書その他文字、図形その他の人の知覚によって認識することができる情報が記載された紙その他の有体物（次項及び第6項並びに次条において「文書等」という。）により行うことが規定されているものについては、当該通知に関するこの規則の規定にかかわらず、議長が定めるところにより、議長が定める電子情報処理組織（議会等の使用に係る電子計算機（入出力装置を含む。以下この項及び第4項において同じ。）とその通知の相手方の使用に係る電子計算機とを電子通信回線で接続した電子情報処理組織をいう。以下この条において同じ。）を使用する方法により行うことができる。

2 議会等が行う通知のうちこの規則の規定において文書等により行うことが規定されているものについては、当該通知に関するこの規則の規定にかかわらず、議長が定めるところにより、議長が定める電子情報処理組織を使用する方法により行うことができる。ただし、当該通知を受ける者が当該電子情報処理組織を使用する方法により受ける旨の議長が定める方式による表示をする場合に限るものとする。

3 前2項の電子情報処理組織を使用する方法により行われた通知については、当該通知に関するこの規則の規定に規定する方法により行われたものとみなして、当該通知に関するこの規則の規定を適用する。

4 第1項又は第2項の電子情報処理組織を使用する方法により行われた通知

は、当該通知を受ける者の使用に係る電子計算機に備えられたファイルへの記録がされたとき（第20条、第80条、第134条第1項及び第135条第1項の規定による議員に対する通知にあつては、当該ファイルへの記録がされたとき又は議会等が、当該通知を受ける者が当該通知をすべき電子的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られる記録であつて、電子計算機（入出力装置を除く。）による情報処理の用に供されるものをいう。次条において同じ。）に記録されている事項を議長が定める方法により表示をしたものの閲覧若しくは当該事項について当該者の使用に係る電子計算機に備えられたファイルへの記録をすることができる措置をとるとともに、当該者に対し、議長が定める電子情報処理組織を使用して当該措置がとられた旨の通知を発したときのいずれか早いとき）に当該者に到達したものとみなす。

- 5 議会等に対して行われ、又は議会等が行う通知のうち当該通知に関するこの規則の規定において署名し、若しくは連署し、又は記名押印すること（以下この項において「署名等」という。）が規定されているものを第1項又は第2項の電子情報処理組織を使用する方法により行う場合には、当該署名等については、当該署名等に関する規定にかかわらず、氏名又は名称を明らかにする措置であつて議長が定めるものをもって代えることができる。
- 6 議会等に対して通知を行い、又は議会等から通知を受ける者について対面により本人確認をするべき事情がある場合、議会等に対して行われ、又は議会等が行う通知に係る文書等のうちにその原本を確認し、又は交付する必要があるものがある場合その他の当該通知のうちに第1項又は第2項の電子情報処理組織を使用する方法により行うことが困難又は著しく不相当と認められる部分がある場合として議長が定める場合には、議長が定めるところにより、当該通知のうち当該部分以外の部分につき、前各項の規定を適用する。この場合において、第3項中「行われた通知」とあるのは、「行われた通知（第6項の規定により前2項の規定を適用する部分に限る。以下この項から第5項までにおいて同じ。）」とする。

（電子的記録による作成等）

- 第162条の3 この規則の規定（第28条第1項（第75条において準用される場合を含む。）を除く。）において議会等が文書等を作成し、又は保存すること（次項において「作成等」という。）が規定されているものについては、当該規定にかかわらず、議長が定めるところにより、当該文書等に係る電子的記録により行うことができる。
- 2 前項の電子的記録により行われた作成等については、当該作成等に関するこの規則の規定により文書等より行われたものとみなして、当該作成等に関

するこの規則の規定を適用する。

附 則

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>目次</p> <p>第1章 会議</p> <p>第1節 総則（第1条—第13条）</p> <p>第2節 議案及び動議（第14条—第19条）</p> <p>第3節 議事日程（第20条—第24条）</p> <p>第4節 選挙（第25条—第34条）</p> <p>第5節 議事（第35条—第48条）</p> <p>第6節 秘密会（第49条・第50条）</p> <p>第7節 発言（第51条—第67条）</p> <p>第8節 表決（第68条—第78条）</p> <p><u>第9節 会議録（第79条—第83条）</u></p> <p>第2章 委員会</p> <p>第1節 総則（第84条—<u>第88条</u>）</p> <p>第2節 審査（第89条—第105条）</p> <p>第3節 秘密会（第106条・第107条）</p> <p>第4節 発言（第108条—第119条）</p> <p>第5節 委員長及び副委員長の互選（第120条・第121条）</p> <p>第6節 表決（第122条—第132条）</p> <p>第3章 請願（第133条—第139条）</p> <p>第4章 辞職及び資格の決定（第140条—第144条）</p> <p>第5章 規律（第145条—第154条）</p> <p>第6章 懲罰（第155条—第160条）</p> <p>第7章 協議又は調整を行うための場（<u>第161条</u>）</p> <p>第8章 議員の派遣（第162条）</p> <p>第9章 補則（<u>第163条</u>）</p> <p>附則</p> <p>第1章 会議</p> <p>第1節 総則</p>	<p>目次</p> <p>第1章 会議</p> <p>第1節 総則（第1条—第13条）</p> <p>第2節 議案及び動議（第14条—第19条）</p> <p>第3節 議事日程（第20条—第24条）</p> <p>第4節 選挙（第25条—第34条）</p> <p>第5節 議事（第35条—第48条）</p> <p>第6節 秘密会（第49条・第50条）</p> <p>第7節 発言（第51条—第67条）</p> <p>第8節 表決（第68条—第78条）</p> <p><u>第9節 公聴会及び参考人（第78条の2—第78条の8）</u></p> <p><u>第10節 会議録（第79条—第83条）</u></p> <p>第2章 委員会</p> <p>第1節 総則（第84条—<u>第88条の2</u>）</p> <p>第2節 審査（第89条—第105条）</p> <p>第3節 秘密会（第106条・第107条）</p> <p>第4節 発言（第108条—第119条）</p> <p>第5節 委員長及び副委員長の互選（第120条・第121条）</p> <p>第6節 表決（第122条—第132条）</p> <p>第3章 請願（第133条—第139条）</p> <p>第4章 辞職及び資格の決定（第140条—第144条）</p> <p>第5章 規律（第145条—第154条）</p> <p>第6章 懲罰（第155条—第160条）</p> <p>第7章 協議又は調整を行うための場（<u>第161条・第161条の2</u>）</p> <p>第8章 議員の派遣（第162条）</p> <p>第9章 補則（<u>第162条の2—第163条</u>）</p> <p>附則</p> <p>第1章 会議</p> <p>第1節 総則</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>(参集)</p> <p>第1条 議員は、招集の当日開議定刻前に議場に参集し、その旨を議長に報告しなければならない。</p> <p>(欠席の届出)</p> <p>第2条 議員は、公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。</p> <p>2 議員は、出産のため出席できないときは、出産予定日の6週間（多胎妊娠の場合にあっては、14週間）前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。</p> <p>(宿所又は連絡所の届出)</p> <p>第3条 議員は、別に宿所又は連絡所を定めたときは、議長に届け出なければならない。これを変更したときも、また同様とする。</p> <p>(議席)</p> <p>第4条 議員の議席は、一般選挙後最初の会議において、議長が定める。</p> <p>2 一般選挙後新たに選挙された議員の議席は、議長が定める。</p> <p>3 議長は、必要があると認めるときは、討論を用いなくて会議に諮って議席を変更することができる。</p> <p>4 議席には、番号及び氏名標を付ける。</p> <p>(会期)</p> <p>第5条 会期は、毎会期の初めに議会の議決により定める。</p> <p>2 会期は、招集された日から起算する。</p> <p>(会期の延長)</p> <p>第6条 会期は、議会の議決により延長するこ</p>	<p>(参集)</p> <p>第1条 議員は、招集の当日開議定刻前に議場に参集し、その旨を議長に報告しなければならない。</p> <p>(欠席の届出)</p> <p>第2条 議員は、公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。</p> <p>2 議員は、出産のため出席できないときは、出産予定日の6週間（多胎妊娠の場合にあっては、14週間）前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。</p> <p>(宿所又は連絡所の届出)</p> <p>第3条 議員は、別に宿所又は連絡所を定めたときは、議長に届け出なければならない。これを変更したときも、また同様とする。</p> <p>(議席)</p> <p>第4条 議員の議席は、一般選挙後最初の会議において、議長が定める。</p> <p>2 一般選挙後新たに選挙された議員の議席は、議長が定める。</p> <p>3 議長は、必要があると認めるときは、討論を用いなくて会議に諮って議席を変更することができる。</p> <p>4 議席には、番号及び氏名標を付ける。</p> <p>(会期)</p> <p>第5条 会期は、毎会期の初めに議会の議決により定める。</p> <p>2 会期は、招集された日から起算する。</p> <p>(会期の延長)</p> <p>第6条 会期は、議会の議決により延長するこ</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>とができる。 (会期中の閉会)</p> <p>第7条 会議に付された事件を全て議了したときは、会期中でも議会の議決により閉会することができる。</p> <p>(議会の開閉)</p> <p>第8条 議会の開閉は、議長が宣告する。 (会議時間)</p> <p>第9条 会議時間は、午前10時から午後5時までとする。</p> <p>2 議長は、必要があると認めるときは、会議時間を変更することができる。ただし、出席議員3人以上から異議があるときは、討論を用いなくて会議に諮って決める。</p> <p><u>3</u> 会議の開始は、号鈴で報ずる。 (休会)</p> <p>第10条 市の休日は、休会とする。</p> <p>2 議事の都合その他必要があると認めるときは、議会は、議決により休会とすることができる。</p> <p>3 議長が特に必要があると認めるときは、休会の日でも会議を開くことができる。</p> <p>4 地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第114条第1項の規定による請求があった場合のほか、議会の議決があったときは、議長は、休会の日でも会議を開かなければならない。 (会議の開閉)</p> <p>第11条 会議の開議、散会、延会、中止又は休憩は、議長が宣告する。</p>	<p>とができる。 (会期中の閉会)</p> <p>第7条 会議に付された事件を全て議了したときは、会期中でも議会の議決により閉会することができる。</p> <p>(議会の開閉)</p> <p>第8条 議会の開閉は、議長が宣告する。 (会議時間)</p> <p>第9条 会議時間は、午前10時から午後5時までとする。</p> <p>2 議長は、必要があると認めるときは、<u>会議に宣告することにより</u>、会議時間を変更することができる。ただし、出席議員3人以上から異議があるときは、討論を用いなくて会議に諮って決める。</p> <p><u>3 前項の規定にかかわらず、議長は、会議中でない場合であって緊急を要するときその他の特に必要があると認めるときは、会議時間を変更することができる。</u></p> <p><u>4</u> 会議の開始は、号鈴で報ずる。 (休会)</p> <p>第10条 市の休日は、休会とする。</p> <p>2 議事の都合その他必要があると認めるときは、議会は、議決により休会とすることができる。</p> <p>3 議長が特に必要があると認めるときは、休会の日でも会議を開くことができる。</p> <p>4 地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第114条第1項の規定による請求があった場合のほか、議会の議決があったときは、議長は、休会の日でも会議を開かなければならない。 (会議の開閉)</p> <p>第11条 会議の開議、散会、延会、中止又は休憩は、議長が宣告する。</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>2 議長が開議を宣告する前又は散会、延会、中止若しくは休憩を宣告した後は、何人も、議事について発言することができない。 (定足数に関する措置)</p> <p>第12条 開議時刻後相当の時間を経ても、なお出席議員が定足数に達しないときは、議長は、延会を宣告することができる。</p> <p>2 会議中定足数を欠くに至るおそれがあると認めるときは、議長は、議員の退席を制止し、又は議場外の議員に出席を求めることができる。</p> <p>3 会議中定足数を欠くに至ったときは、議長は、休憩又は延会を宣告する。 (出席催告)</p> <p>第13条 法第113条ただし書の規定による出席催告の方法は、議場にいる議員又は議員の住所(別に宿所又は連絡所の届出をした者については、当該届出の宿所又は連絡所)に、文書又は口頭により行う。 第2節 議案及び動議 (議案の提出)</p> <p>第14条 議員が議案を提出しようとするときは、その案を備え、理由を付け、議員の定数の12分の1以上の者が連署して、議長に提出しなければならない。</p> <p>2 委員会が議案を提出しようとするときは、その案を備え、理由を付け、委員長が議長に提出しなければならない。 (一事不再議)</p> <p>第15条 議会で議決された事件については、<u>同一会期中は</u>再び提出することができない。 (動議成立に必要な賛成者の数)</p> <p>第16条 動議は、法又はこの規則において特別の規定がある場合を除くほか、他に2人以上の賛成者がなければ議題とすることができ</p>	<p>2 議長が開議を宣告する前又は散会、延会、中止若しくは休憩を宣告した後は、何人も、議事について発言することができない。 (定足数に関する措置)</p> <p>第12条 開議時刻後相当の時間を経ても、なお出席議員が定足数に達しないときは、議長は、延会を宣告することができる。</p> <p>2 会議中定足数を欠くに至るおそれがあると認めるときは、議長は、議員の退席を制止し、又は議場外の議員に出席を求めることができる。</p> <p>3 会議中定足数を欠くに至ったときは、議長は、休憩又は延会を宣告する。 (出席催告)</p> <p>第13条 法第113条ただし書の規定による出席催告の方法は、議場にいる議員又は議員の住所(別に宿所又は連絡所の届出をした者については、当該届出の宿所又は連絡所)に、文書又は口頭により行う。 第2節 議案及び動議 (議案の提出)</p> <p>第14条 議員が議案を提出しようとするときは、その案を備え、理由を付け、議員の定数の12分の1以上の者が連署して、議長に提出しなければならない。</p> <p>2 委員会が議案を提出しようとするときは、その案を備え、理由を付け、委員長が議長に提出しなければならない。 (一事不再議)</p> <p>第15条 議会で議決された事件については、<u>同一会期中は</u>、再び提出することができない。 (動議成立に必要な賛成者の数)</p> <p>第16条 動議は、法又はこの規則において特別の規定がある場合を除くほか、他に2人以上の賛成者がなければ議題とすることができ</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>ない。</p> <p>(修正の動議)</p> <p>第17条 修正の動議は、その案を備え、議員の定数の1/2以上の発議者が連署して、議長に提出しなければならない。</p> <p>(先決動議の表決の順序)</p> <p>第18条 他の事件に先立って表決に付さなければならない動議が競合したときは、議長が表決の順序を決める。ただし、出席議員2人以上から異議があるときは、議長が討論を用いないで会議に諮って決める。</p> <p>(事件の撤回又は訂正及び動議の撤回)</p> <p>第19条 会議の議題となった事件を撤回し、又は訂正しようとするとき及び会議の議題となった動議を撤回しようとするときは、議会の承認を得なければならない。ただし、会議の議題となる前においては、議長の許可を得なければならない。</p> <p>2 議員が提出した事件及び動議につき前項の承認又は許可を求めようとするときは、提出者から事件については文書により、動議については文書又は口頭により、請求しなければならない。</p> <p>3 委員会が提出した議案につき第1項の承認又は許可を求めようとするときは、委員会の承認を得て委員長が請求しなければならない。</p> <p>第3節 議事日程</p> <p>(議事日程の作成及び配付)</p> <p>第20条 議長は、開議の日時、会議に付する事件及びその順序等を記載した議事日程を定め、あらかじめ議員に配付する。ただし、やむを得ない理由があるときは、議長がこれを報告して配付に代えることができる。</p> <p>(議事日程の順序変更及び追加)</p>	<p>ない。</p> <p>(修正の動議)</p> <p>第17条 修正の動議は、その案を備え、議員の定数の1/2以上の発議者が連署して、議長に提出しなければならない。</p> <p>(先決動議の表決の順序)</p> <p>第18条 他の事件に先立って表決に付さなければならない動議が競合したときは、議長が表決の順序を決める。ただし、出席議員2人以上から異議があるときは、議長が討論を用いないで会議に諮って決める。</p> <p>(事件の撤回又は訂正及び動議の撤回)</p> <p>第19条 会議の議題となった事件を撤回し、又は訂正しようとするとき及び会議の議題となった動議を撤回しようとするときは、議会の承認を得なければならない。ただし、会議の議題となる前においては、議長の許可を得なければならない。</p> <p>2 議員が提出した事件及び動議につき前項の承認又は許可を求めようとするときは、提出者から事件については文書により、動議については文書又は口頭により、請求しなければならない。</p> <p>3 委員会が提出した議案につき第1項の承認又は許可を求めようとするときは、委員会の承認を得て委員長が請求しなければならない。</p> <p>第3節 議事日程</p> <p>(議事日程の作成及び配付)</p> <p>第20条 議長は、開議の日時、会議に付する事件及びその順序等を記載した議事日程を定め、あらかじめ議員に配付する。ただし、やむを得ない理由があるときは、議長がこれを報告して配付に代えることができる。</p> <p>(議事日程の順序変更及び追加)</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>第21条 議長は、必要があると認めるとき又は議員から動議が提出されたときは、討論を用いなくて会議に諮って、議事日程の順序を変更し、又は他の事件を追加することができる。</p>	<p>第21条 議長は、必要があると認めるとき又は議員から動議が提出されたときは、討論を用いなくて会議に諮って、議事日程の順序を変更し、又は他の事件を追加することができる。</p>
<p>(議事日程のない会議の通知)</p>	<p>(議事日程のない会議の通知)</p>
<p>第22条 議長は、必要があると認めるときは、開議の日時のみを議員に通知して会議を開くことができる。</p>	<p>第22条 議長は、必要があると認めるときは、開議の日時のみを議員に通知して会議を開くことができる。</p>
<p>2 前項の場合、議長は、その開議までに議事日程を定めなければならない。</p>	<p>2 前項の場合、議長は、その開議までに議事日程を定めなければならない。</p>
<p>(延会の場合の議事日程)</p>	<p>(延会の場合の議事日程)</p>
<p>第23条 議事日程に記載した事件の議事を開くに至らなかったとき、又はその議事が終わらなかったときは、議長は、更にその議事日程を定めなければならない。</p>	<p>第23条 議事日程に記載した事件の議事を開くに至らなかったとき、又はその議事が終わらなかったときは、議長は、更にその議事日程を定めなければならない。</p>
<p>(議事日程の終了及び延会)</p>	<p>(議事日程の終了及び延会)</p>
<p>第24条 議事日程に記載した事件の議事を終わったときは、議長は、散会を宣告する。</p>	<p>第24条 議事日程に記載した事件の議事を終わったときは、議長は、散会を宣告する。</p>
<p>2 議事日程に記載した事件の議事が終わらない場合でも、議長が必要があると認めるとき又は議員から動議が提出されたときは、議長は、討論を用いなくて会議に諮って延会することができる。</p>	<p>2 議事日程に記載した事件の議事が終わらない場合でも、議長が必要があると認めるとき又は議員から動議が提出されたときは、議長は、討論を用いなくて会議に諮って延会することができる。</p>
<p>第4節 選挙</p>	<p>第4節 選挙</p>
<p>(選挙の宣告)</p>	<p>(選挙の宣告)</p>
<p>第25条 議会において選挙を行うときは、議長は、その旨を宣告する。</p>	<p>第25条 議会において選挙を行うときは、議長は、その旨を宣告する。</p>
<p>(不在議員)</p>	<p>(不在議員)</p>
<p>第26条 <u>選挙を行う宣告の際</u>、議場にいない議員は、選挙に加わることができない。</p>	<p>第26条 <u>選挙を行う際</u>、議場にいない議員は、選挙に加わることができない。</p>
<p>(議場の出入口閉鎖)</p>	<p>(議場の出入口閉鎖)</p>
<p>第27条 投票による選挙を行うときは、議長は、第25条の規定による宣告の後、職員に議場の出入口を閉じさせ、出席議員数を報告</p>	<p>第27条 投票による選挙を行うときは、議長は、第25条の規定による宣告の後、職員に議場の出入口を閉じさせ、出席議員数を報告</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>する。</p> <p>(投票用紙の配付及び投票箱の点検)</p> <p>第28条 投票を行うときは、議長は、職員に所定の投票用紙を配付させた後、配付漏れの有無を確かめなければならない。</p> <p>2 議長は、職員に投票箱を点検させなければならない。</p> <p>(投票)</p> <p>第29条 議員は、議長の指示に従って、順次、<u>投票用紙を投票箱に投入する。</u></p> <p>(投票の終了)</p> <p>第30条 議長は、投票が終わったと認めるときは、投票漏れの有無を確かめ、投票の終了を宣告する。その宣告があった後は、投票することができない。</p> <p>(開票及び投票の効力)</p> <p>第31条 議長は、開票を宣告した後、2人以上の立会人とともに投票を点検しなければならない。</p> <p>2 前項の立会人は、議長が、議員のうちから指名する。</p> <p>3 投票の効力は、立会人の意見を聴いて議長が決定する。</p> <p>(選挙結果の報告)</p> <p>第32条 議長は、選挙の結果を直ちに議場において報告する。</p> <p>2 議長は、当選人に当選の旨を告知しなければならない。</p> <p>(選挙に関する疑義)</p> <p>第33条 選挙に関する疑義は、議長が会議に諮って決める。</p> <p>(選挙関係書類の保存)</p>	<p>する。</p> <p>(投票用紙の配付及び投票箱の点検)</p> <p>第28条 投票を行うときは、議長は、職員に所定の投票用紙を配付させた後、配付漏れの有無を確かめなければならない。</p> <p>2 議長は、職員に投票箱を点検させなければならない。</p> <p>(投票)</p> <p>第29条 議員は、議長の指示に従って、順次、<u>投票する。</u></p> <p>(投票の終了)</p> <p>第30条 議長は、投票が終わったと認めるときは、投票漏れの有無を確かめ、投票の終了を宣告する。その宣告があった後は、投票することができない。</p> <p>(開票及び投票の効力)</p> <p>第31条 議長は、開票を宣告した後、2人以上の立会人とともに投票を点検しなければならない。</p> <p>2 前項の立会人は、議長が、議員のうちから指名する。</p> <p>3 投票の効力は、立会人の意見を聴いて議長が決定する。</p> <p><u>4 投票の効力に係る法第118条第6項の規定による通知に関し必要な事項は、議長が定める。</u></p> <p>(選挙結果の報告)</p> <p>第32条 議長は、選挙の結果を直ちに議場において報告する。</p> <p>2 議長は、当選人に当選の旨を告知しなければならない。</p> <p>(選挙に関する疑義)</p> <p>第33条 選挙に関する疑義は、議長が会議に諮って決める。</p> <p>(選挙関係書類の保存)</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>第34条 議長は、投票の有効無効を区別し、当該当選人の在任の間、関係書類とともにこれを保存しなければならない。</p> <p>第5節 議事 (議題の宣告)</p> <p>第35条 会議に付する事件を議題とするときは、議長は、その旨を宣告する。 (一括議題)</p> <p>第36条 議長は、必要があると認めるときは、2件以上の事件を一括して議題とすることができる。ただし、出席議員3人以上から異議があるときは、討論を用いないで会議に諮って決める。 (議案等の朗読)</p> <p>第37条 議長は、必要があると認めるときは、議題になった事件を職員に朗読させる。 (議案等の説明、質疑及び委員会付託)</p> <p>第38条 会議に付する事件は、第135条に規定する場合を除き、会議において提出者の説明を聴き、議員の質疑があるときは質疑の後、議長が所管の常任委員会又は議会運営委員会に付託する。ただし、常任委員会に係る事件は、議会の議決で特別委員会に付託することができる。</p> <p>2 委員会が提出した議案は、委員会に付託しない。ただし、議長が必要があると認めるときは、議会の議決で、議会運営委員会に係る議案は議会運営委員会に、常任委員会又は特別委員会に係る議案は常任委員会又は特別委員会に付託することができる。</p> <p>3 前2項における提出者の説明又は第1項における委員会の付託は、討論を用いないで会議に諮って省略することができる。 (付託事件を議題とする時期)</p> <p>第39条 議長は、委員会に付託した事件は、</p>	<p>第34条 議長は、投票の有効無効を区別し、当該当選人の在任の間、関係書類とともにこれを保存しなければならない。</p> <p>第5節 議事 (議題の宣告)</p> <p>第35条 会議に付する事件を議題とするときは、議長は、その旨を宣告する。 (一括議題)</p> <p>第36条 議長は、必要があると認めるときは、2件以上の事件を一括して議題とすることができる。ただし、出席議員3人以上から異議があるときは、討論を用いないで会議に諮って決める。 (議案等の朗読)</p> <p>第37条 議長は、必要があると認めるときは、議題になった事件を職員に朗読させる。 (議案等の説明、質疑及び委員会付託)</p> <p>第38条 会議に付する事件は、第135条に規定する場合を除き、会議において提出者の説明を聴き、議員の質疑があるときは質疑の後、議長が所管の常任委員会又は議会運営委員会に付託する。ただし、常任委員会に係る事件は、議会の議決で特別委員会に付託することができる。</p> <p>2 委員会が提出した議案は、委員会に付託しない。ただし、議長が必要があると認めるときは、議会の議決で、議会運営委員会に係る議案は議会運営委員会に、常任委員会又は特別委員会に係る議案は常任委員会又は特別委員会に付託することができる。</p> <p>3 前2項における提出者の説明又は第1項における委員会の付託は、討論を用いないで会議に諮って省略することができる。 (付託事件を議題とする時期)</p> <p>第39条 議長は、委員会に付託した事件は、</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>その審査又は調査が終了した後、議題とする。 （委員長及び少数意見者の報告）</p> <p>第40条 委員会が審査又は調査した事件が議題となったときは、委員長がその経過及び結果を報告する。</p> <p>2 第102条第2項の規定による手続を行った者は、前項の報告に次いで少数意見の報告をすることができる。この場合において、少数意見が2個以上あるときの報告の順序は、議長が決める。</p> <p>3 前2項の報告は、討論を用いなくて会議に諮って省略することができる。</p> <p>4 委員長の報告及び少数意見者の報告には、自己の意見を加えてはならない。 （修正案の説明）</p> <p>第41条 委員長の報告及び少数意見者の報告が終わったとき、又は委員会への付託を省略したときは、議長は、修正案の説明をさせる。 （委員長の報告等に対する質疑）</p> <p>第42条 議員は、委員長及び少数意見を報告した者に対し、質疑をすることができる。修正案に関しては、事件又は修正案の提出者及び説明のための出席者に対しても、また同様とする。 （討論及び表決）</p> <p>第43条 議長は、前条の質疑が終わったときは、討論に付し、その終結の後、表決に付する。 （議決事件の字句及び数字等の整理）</p> <p>第44条 議会は、議決の結果生じた条項、字句、数字その他の整理を必要とするときは、これを議長に委任することができる。 （委員会の審査又は調査期限）</p> <p>第45条 議会は、必要があると認めるときは、委員会に付託した事件の審査又は調査につき</p>	<p>その審査又は調査が終了した後、議題とする。 （委員長及び少数意見者の報告）</p> <p>第40条 委員会が審査又は調査した事件が議題となったときは、委員長がその経過及び結果を報告する。</p> <p>2 第102条第2項の規定による手続を行った者は、前項の報告に次いで少数意見の報告をすることができる。この場合において、少数意見が2個以上あるときの報告の順序は、議長が決める。</p> <p>3 前2項の報告は、討論を用いなくて会議に諮って省略することができる。</p> <p>4 委員長の報告及び少数意見者の報告には、自己の意見を加えてはならない。 （修正案の説明）</p> <p>第41条 委員長の報告及び少数意見者の報告が終わったとき、又は委員会への付託を省略したときは、議長は、修正案の説明をさせる。 （委員長の報告等に対する質疑）</p> <p>第42条 議員は、委員長及び少数意見を報告した者に対し、質疑をすることができる。修正案に関しては、事件又は修正案の提出者及び説明のための出席者に対しても、また同様とする。 （討論及び表決）</p> <p>第43条 議長は、前条の質疑が終わったときは、討論に付し、その終結の後、表決に付する。 （議決事件の字句及び数字等の整理）</p> <p>第44条 議会は、議決の結果生じた条項、字句、数字その他の整理を必要とするときは、これを議長に委任することができる。 （委員会の審査又は調査期限）</p> <p>第45条 議会は、必要があると認めるときは、委員会に付託した事件の審査又は調査につき</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>期限を付けることができる。ただし、委員会は、期限の延期を議会に求めることができる。</p> <p>2 前項の期限までに審査又は調査を終わらなかったときは、その事件は、第39条の規定にかかわらず、<u>会議</u>において審議することができる。</p> <p>(委員会の中間報告)</p> <p>第46条 議会は、委員会の審査又は調査中の事件について、特に必要があると認めるときは、中間報告を求めることができる。</p> <p>2 委員会は、その審査又は調査中の事件について、特に必要があると認めるときは、中間報告をすることができる。</p> <p>(再付託)</p> <p>第47条 委員会の審査又は調査を経て報告された事件について、なお審査又は調査の必要があると認めるときは、議会は、更にその事件を同一の委員会又は他の委員会に付託することができる。</p> <p>(議事の継続)</p> <p>第48条 延会、中止又は休憩のため事件の議事が中断された場合において、再びその事件が議題となったときは、前の議事を継続する。</p> <p>第6節 秘密会</p> <p>(指定者以外の者の退場)</p> <p>第49条 秘密会を開く議決があつたときは、議長は、傍聴人及び議長の指定する者以外の者を議場の外に退去させなければならない。</p> <p>(秘密の保持)</p> <p>第50条 秘密会の議事の記録は、公表しない。</p> <p>2 秘密会の議事は、何人も秘密性の継続する限り、他に漏らしてはならない。</p> <p>第7節 発言</p> <p>(発言の許可等)</p> <p>第51条 発言は、全て議長の許可を得た後、</p>	<p>期限を付けることができる。ただし、委員会は、期限の延期を議会に求めることができる。</p> <p>2 前項の期限までに審査又は調査を終わらなかったときは、その事件は、第39条の規定にかかわらず、<u>議会</u>において審議することができる。</p> <p>(委員会の中間報告)</p> <p>第46条 議会は、委員会の審査又は調査中の事件について、特に必要があると認めるときは、中間報告を求めることができる。</p> <p>2 委員会は、その審査又は調査中の事件について、特に必要があると認めるときは、<u>議会の承認を得て</u>、中間報告をすることができる。</p> <p>(再付託)</p> <p>第47条 委員会の審査又は調査を経て報告された事件について、なお審査又は調査の必要があると認めるときは、議会は、更にその事件を同一の委員会又は他の委員会に付託することができる。</p> <p>(議事の継続)</p> <p>第48条 延会、中止又は休憩のため事件の議事が中断された場合において、再びその事件が議題となったときは、前の議事を継続する。</p> <p>第6節 秘密会</p> <p>(指定者以外の者の退場)</p> <p>第49条 秘密会を開く議決があつたときは、議長は、傍聴人及び議長の指定する者以外の者を議場の外に退去させなければならない。</p> <p>(秘密の保持)</p> <p>第50条 秘密会の議事の記録は、公表しない。</p> <p>2 秘密会の議事は、何人も秘密性の継続する限り、他に漏らしてはならない。</p> <p>第7節 発言</p> <p>(発言の許可等)</p> <p>第51条 発言は、全て議長の許可を得た後、</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>登壇してしなければならない。ただし、簡易な事項については、議席で発言することができる。</p> <p>2 議長は、議席で発言する議員を登壇させることができる。</p> <p>(発言の通告書及び順序)</p> <p>第52条 会議において発言しようとする議員は、あらかじめ議長に発言通告書を提出しなければならない。ただし、議事進行、一身上の弁明等については、この限りでない。</p> <p>2 発言通告書には、質疑についてはその要旨、討論については反対又は賛成の別を記載しなければならない。</p> <p>3 発言の順序は、議長が決める。</p> <p>4 発言の通告をした議員が欠席したとき、又は発言の順位に当たっても発言しないとき、若しくは議場にいないときは、その通告は効力を失う。</p> <p>(発言の通告をしない議員の発言)</p> <p>第53条 発言の通告をしない議員は、通告した議員が全て発言を終わった後でなければ、発言を求めることができない。</p> <p>2 発言の通告をしない議員が発言しようとするときは、起立して「議長」と呼び、自己の氏名を告げ、議長の許可を得なければならない。</p> <p>3 2人以上起立して発言を求めたときは、議長は、先の起立者と認めるものを指名する。</p> <p>(討論の方法)</p> <p>第54条 討論については、議長は、最初に反対者を発言させ、次に賛成者と反対者をなるべく交互に指名して発言させなければならない。</p> <p>(議長の発言及び討論)</p> <p>第55条 議長は、議員として発言しようとする</p>	<p>登壇してしなければならない。ただし、簡易な事項については、議席で発言することができる。</p> <p>2 議長は、議席で発言する議員を登壇させることができる。</p> <p>(発言の通告書及び順序)</p> <p>第52条 会議において発言しようとする議員は、あらかじめ議長に発言通告書を提出しなければならない。ただし、議事進行、一身上の弁明等については、この限りでない。</p> <p>2 発言通告書には、質疑についてはその要旨、討論については反対又は賛成の別を記載しなければならない。</p> <p>3 発言の順序は、議長が決める。</p> <p>4 発言の通告をした議員が欠席したとき、又は発言の順位に当たっても発言しないとき、若しくは議場にいないときは、その通告は効力を失う。</p> <p>(発言の通告をしない議員の発言)</p> <p>第53条 発言の通告をしない議員は、通告した議員が全て発言を終わった後でなければ、発言を求めることができない。</p> <p>2 発言の通告をしない議員が発言しようとするときは、起立して「議長」と呼び、自己の氏名を告げ、議長の許可を得なければならない。</p> <p>3 2人以上起立して発言を求めたときは、議長は、先の起立者と認めるものを指名する。</p> <p>(討論の方法)</p> <p>第54条 討論については、議長は、最初に反対者を発言させ、次に賛成者と反対者をなるべく交互に指名して発言させなければならない。</p> <p>(議長の発言及び討論)</p> <p>第55条 議長は、議員として発言しようとする</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>るときは、議席に着き発言し、発言が終わった後、議長席に復さなければならない。ただし、討論をしたときは、その議題の表決が終わるまでは、議長席に復することができない。 (発言内容の制限)</p> <p>第56条 発言は、全て簡明にし、議題外にわたり、又はその範囲を超えてはならない。</p> <p>2 議長は、発言が前項の規定に反すると認めるときは、注意し、なお従わない場合は、発言を禁止することができる。</p> <p>3 議員は、質疑に当たっては、自己の意見を述べるできない。 (質疑の回数制限)</p> <p>第57条 質疑は、同一議員につき、同一議題について3回を超えることができない。ただし、特に議長の許可を得たときは、この限りでない。 (発言時間の制限)</p> <p>第58条 議長は、必要があると認めるときは、あらかじめ発言時間を制限することができる。</p> <p>2 議長の定めた時間の制限について、出席議員3人以上から異議があるときは、議長は、討論を用いないで会議に諮って決める。 (議事進行に関する発言)</p> <p>第59条 議事進行に関する発言は、議題に直接関係のあるもの又は直ちに処理する必要があるものでなければならない。</p> <p>2 議事進行に関する発言がその趣旨に反すると認めるときは、議長は、直ちに制止しなければならない。 (発言の継続)</p> <p>第60条 延会、中止又は休憩のため発言が終わらなかった議員は、更にその議事を始めたときは、前の発言を続けることができる。</p>	<p>るときは、議席に着き発言し、発言が終わった後、議長席に復さなければならない。ただし、討論をしたときは、その議題の表決が終わるまでは、議長席に復することができない。 (発言内容の制限)</p> <p>第56条 発言は、全て簡明にし、議題外にわたり、又はその範囲を超えてはならない。</p> <p>2 議長は、発言が前項の規定に反すると認めるときは、注意し、なお従わない場合は、発言を禁止することができる。</p> <p>3 議員は、質疑に当たっては、自己の意見を述べるできない。 (質疑の回数制限)</p> <p>第57条 質疑は、同一議員につき、同一議題について3回を超えることができない。ただし、特に議長の許可を得たときは、この限りでない。 (発言時間の制限)</p> <p>第58条 議長は、必要があると認めるときは、あらかじめ発言時間を制限することができる。</p> <p>2 議長の定めた時間の制限について、出席議員3人以上から異議があるときは、議長は、討論を用いないで会議に諮って決める。 (議事進行に関する発言)</p> <p>第59条 議事進行に関する発言は、議題に直接関係のあるもの又は直ちに処理する必要があるものでなければならない。</p> <p>2 議事進行に関する発言がその趣旨に反すると認めるときは、議長は、直ちに制止しなければならない。 (発言の継続)</p> <p>第60条 延会、中止又は休憩のため発言が終わらなかった議員は、更にその議事を始めたときは、前の発言を続けることができる。</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>(質疑又は討論の終結)</p> <p>第61条 質疑又は討論が終わったときは、議長は、その終結を宣告する。</p> <p>2 質疑又は討論が続出して容易に終結しないときは、議員は、質疑又は討論終結の動議を提出することができる。</p> <p>3 質疑又は討論終結の動議については、議長は、討論を用いなくて会議に諮って決める。</p> <p>(選挙及び表決時の発言制限)</p> <p>第62条 選挙及び表決の宣告後は、何人も発言を求めることができない。ただし、選挙及び表決の方法についての発言は、この限りでない。</p> <p>(一般質問)</p> <p>第63条 議員は、市の一般事務について、議長の許可を得て質問することができる。</p> <p>2 質問者は、議長の定めた期間内に、議長にその要旨を文書で通告しなければならない。</p> <p>(緊急質問等)</p> <p>第64条 質問が緊急を要するとき、その他真にやむを得ないと認められるときは、前条の規定にかかわらず、議員は、議会の同意を得て質問することができる。</p> <p>2 前項の同意については、議長は、討論を用いなくて会議に諮って決定する。</p> <p>3 第1項の質問がその趣旨に反すると認めるときは、議長は、直ちに制止しなければならない。</p> <p>(準用規定)</p> <p>第65条 質問については、第61条の規定を準用する。</p> <p>(発言の取消し又は訂正)</p> <p>第66条 発言した議員は、その会期中に限り、議会の許可を得て発言を取り消し、又は議長の許可を得て発言の訂正をすることができ</p>	<p>(質疑又は討論の終結)</p> <p>第61条 質疑又は討論が終わったときは、議長は、その終結を宣告する。</p> <p>2 質疑又は討論が続出して容易に終結しないときは、議員は、質疑又は討論終結の動議を提出することができる。</p> <p>3 質疑又は討論終結の動議については、議長は、討論を用いなくて会議に諮って決める。</p> <p>(選挙及び表決時の発言制限)</p> <p>第62条 選挙及び表決の宣告後は、何人も発言を求めることができない。ただし、選挙及び表決の方法についての発言は、この限りでない。</p> <p>(一般質問)</p> <p>第63条 議員は、市の一般事務について、議長の許可を得て質問することができる。</p> <p>2 質問者は、議長の定めた期間内に、議長にその要旨を文書で通告しなければならない。</p> <p>(緊急質問等)</p> <p>第64条 質問が緊急を要するとき、その他真にやむを得ないと認められるときは、前条の規定にかかわらず、議員は、議会の同意を得て質問することができる。</p> <p>2 前項の同意については、議長は、討論を用いなくて会議に諮って決定する。</p> <p>3 第1項の質問がその趣旨に反すると認めるときは、議長は、直ちに制止しなければならない。</p> <p>(準用規定)</p> <p>第65条 質問については、第61条の規定を準用する。</p> <p>(発言の取消し又は訂正)</p> <p>第66条 発言した議員は、その会期中に限り、議会の許可を得て発言を取り消し、又は議長の許可を得て発言の訂正をすることができ</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>る。ただし、発言の訂正は、字句に限るものとし、発言の趣旨を変更することはできない。 (答弁書の配付)</p> <p>第67条 市長その他の関係機関が、議員からの質疑又は質問に対し、直ちに答弁し難い場合において答弁書を提出したときは、議長は、その写しを議員に配付する。ただし、やむを得ないときは、朗読をもって配付に代えることができる。</p> <p>第8節 表決 (表決問題の宣告)</p> <p>第68条 議長は、表決を採ろうとするときは、表決に付する問題を宣告する。 (不在議員)</p> <p>第69条 表決の宣告の際、議場にいない議員は、表決に加わることができない。 (条件の禁止)</p> <p>第70条 表決には、条件を付けることができない。 (起立による表決)</p> <p>第71条 議長は、表決を採ろうとするときは、問題を可とする者を起立させ、起立者の多少を認定して可否の結果を宣告する。</p> <p>2 議長は、起立者の多少を認定し難いとき、又は議長の宣告に対して出席議員3人以上から異議があるときは、記名又は無記名の投票で表決を採らなければならない。 (投票による表決)</p> <p>第72条 議長は、必要があると認めるとき、又は出席議員3人以上から要求があるときは、記名又は無記名の投票で表決を採る。</p> <p>2 同時に前項の記名投票と無記名投票の要求があるときは、議長は、いずれの方法によるかを無記名投票で決める。 (記名投票)</p>	<p>る。ただし、発言の訂正は、字句に限るものとし、発言の趣旨を変更することはできない。 (答弁書の配付)</p> <p>第67条 市長その他の関係機関が、議員からの質疑又は質問に対し、直ちに答弁し難い場合において答弁書を提出したときは、議長は、その写しを議員に配付する。ただし、やむを得ないときは、朗読をもって配付に代えることができる。</p> <p>第8節 表決 (表決問題の宣告)</p> <p>第68条 議長は、表決を採ろうとするときは、表決に付する問題を宣告する。 (不在議員)</p> <p>第69条 表決の宣告の際、議場にいない議員は、表決に加わることができない。 (条件の禁止)</p> <p>第70条 表決には、条件を付けることができない。 (起立による表決)</p> <p>第71条 議長は、表決を採ろうとするときは、問題を可とする者を起立させ、起立者の多少を認定して可否の結果を宣告する。</p> <p>2 議長は、起立者の多少を認定し難いとき、又は議長の宣告に対して出席議員3人以上から異議があるときは、記名又は無記名の投票で表決を採らなければならない。 (投票による表決)</p> <p>第72条 議長は、必要があると認めるとき、又は出席議員3人以上から要求があるときは、記名又は無記名の投票で表決を採る。</p> <p>2 同時に前項の記名投票と無記名投票の要求があるときは、議長は、いずれの方法によるかを無記名投票で決める。 (記名投票)</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>第73条 記名投票を行う場合には、氏名とともに問題を可とする議員は賛成と、問題を否とする議員は反対と、所定の投票用紙に記載し、投票箱に投入しなければならない。</p> <p>(無記名投票)</p>	<p>第73条 記名投票を行う場合には、氏名とともに問題を可とする議員は賛成と、問題を否とする議員は反対と、所定の投票用紙に記載し、投票箱に投入しなければならない。</p> <p>(無記名投票)</p>
<p>第74条 無記名投票を行う場合には、問題を可とする議員は賛成と、問題を否とする議員は反対と、所定の投票用紙に記載し、投票箱に投入しなければならない。</p>	<p>第74条 無記名投票を行う場合には、問題を可とする議員は賛成と、問題を否とする議員は反対と、所定の投票用紙に記載し、投票箱に投入しなければならない。</p>
<p>2 無記名投票による表決において、賛否を表明しない投票及び賛否が明らかでない投票は、否とみなす。</p> <p>(選挙規定の準用)</p>	<p>2 無記名投票による表決において、賛否を表明しない投票及び賛否が明らかでない投票は、否とみなす。</p> <p>(選挙規定の準用)</p>
<p>第75条 記名投票又は無記名投票を行う場合には、第27条から第31条まで、第32条第1項、第33条及び第34条の規定を準用する。</p> <p>(表決の訂正)</p>	<p>第75条 記名投票又は無記名投票を行う場合には、第27条から第31条まで、第32条第1項、第33条及び第34条の規定を準用する。</p> <p>(表決の訂正)</p>
<p>第76条 議員は、自己の表決の訂正を求めることができない。</p> <p>(簡易表決)</p>	<p>第76条 議員は、自己の表決の訂正を求めることができない。</p> <p>(簡易表決)</p>
<p>第77条 議長は、問題について異議の有無を会議に諮ることができる。異議がないと認めるときは、議長は、可決の旨を宣告する。ただし、議長の宣告に対して、出席議員3人以上から異議があるときは、議長は、起立の方法で表決を採らなければならない。</p> <p>(表決の順序)</p>	<p>第77条 議長は、問題について異議の有無を会議に諮ることができる。異議がないと認めるときは、議長は、可決の旨を宣告する。ただし、議長の宣告に対して、出席議員3人以上から異議があるときは、議長は、起立の方法で表決を採らなければならない。</p> <p>(表決の順序)</p>
<p>第78条 議員の提出した修正案は、委員会の修正案より先に表決を採らなければならない。</p> <p>2 同一の議題について、議員から数個の修正案が提出されたときは、議長が表決の順序を決める。その順序は、原案に最も遠いものから先に表決を採る。ただし、表決の順序につ</p>	<p>第78条 議員の提出した修正案は、委員会の修正案より先に表決を採らなければならない。</p> <p>2 同一の議題について、議員から数個の修正案が提出されたときは、議長が表決の順序を決める。その順序は、原案に最も遠いものから先に表決を採る。ただし、表決の順序につ</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>いて出席議員 3 人以上から異議があるときは、議長は、討論を用いなくて会議に諮って決める。</p> <p>3 修正案が全て否決されたときは、原案について表決を採る。</p>	<p>いて出席議員 3 人以上から異議があるときは、議長は、討論を用いなくて会議に諮って決める。</p> <p>3 修正案が全て否決されたときは、原案について表決を採る。</p> <p style="text-align: center;"><u>第 9 節 公聴会及び参考人</u> <u>(公聴会開催の手続)</u></p> <p><u>第 7 8 条の 2 会議において公聴会を開く議決があったときは、議長は、その日時、場所及び意見を聴こうとする案件その他必要な事項を公示する。</u> <u>(意見を述べようとする者の申出)</u></p> <p><u>第 7 8 条の 3 公聴会に出席して意見を述べようとする者は、文書であらかじめその理由及び案件に対する賛否を、議長に申し出なければならない。</u> <u>(公述人の決定)</u></p> <p><u>第 7 8 条の 4 公聴会において意見を聴こうとする利害関係者及び学識経験者等（以下「公述人」という。）は、前条の規定によりあらかじめ申し出た者及びその他の者の中から、議会において定め、議長から本人にその旨を通知する。</u></p> <p><u>2 あらかじめ申し出た者の中に、その案件に対して、賛成者及び反対者があるときは、一方に偏らないように公述人を選ばなければならない。</u> <u>(公述人の発言)</u></p> <p><u>第 7 8 条の 5 公述人が発言しようとするときは、議長の許可を得なければならない。</u></p> <p><u>2 公述人の発言は、その意見を聴こうとする案件の範囲を超えてはならない。</u></p> <p><u>3 公述人の発言がその範囲を超え、又は公述人に不穏当な言動があるときは、議長は、発言を制止し、又は退席させることができる。</u></p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p style="text-align: center;"><u>第9節</u> 会議録 (会議録の記載事項)</p> <p>第79条 会議録に記載する事項は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 開会及び閉会に関する事項並びにその年月日時</p> <p>(2) 開議、散会、延会、中止及び休憩の日時</p> <p>(3) 出席及び欠席の議員の氏名</p> <p>(4) 職務のため議場に出席した事務局職員の職及び氏名</p> <p>(5) 説明のため出席した者の職及び氏名</p> <p>(6) 議事日程</p> <p>(7) 議長の諸報告</p> <p>(8) 議員の異動並びに議席の指定及び変更</p> <p>(9) 委員会報告書及び少数意見報告書</p> <p>(10) 会議に付した事件</p>	<p style="text-align: center;"><u>(議員と公述人の質疑)</u></p> <p><u>第78条の6</u> 議員は、公述人に対して質疑をすることができる。</p> <p><u>2</u> 公述人は、議員に対して質疑をすることができない。</p> <p style="text-align: center;"><u>(代理人又は文書による意見の陳述)</u></p> <p><u>第78条の7</u> 公述人は、代理人に意見を述べさせ、又は文書で意見を提示することができない。ただし、議会が特に許可した場合は、この限りでない。</p> <p style="text-align: center;"><u>(参考人)</u></p> <p><u>第78条の8</u> 会議において参考人の出席を求める議決があったときは、議長は、参考人にその日時、場所及び意見を聴こうとする案件その他必要な事項を通知しなければならない。</p> <p><u>2</u> 参考人については、前3条の規定を準用する。</p> <p style="text-align: center;"><u>第10節</u> 会議録 (会議録の記載事項)</p> <p>第79条 会議録に記載する事項は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 開会及び閉会に関する事項並びにその年月日時</p> <p>(2) 開議、散会、延会、中止及び休憩の日時</p> <p>(3) 出席及び欠席の議員の氏名</p> <p>(4) 職務のため議場に出席した事務局職員の職及び氏名</p> <p>(5) 説明のため出席した者の職及び氏名</p> <p>(6) 議事日程</p> <p>(7) 議長の諸報告</p> <p>(8) 議員の異動並びに議席の指定及び変更</p> <p>(9) 委員会報告書及び少数意見報告書</p> <p>(10) 会議に付した事件</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>(1 1) 議案の提出、撤回及び訂正に関する事項</p> <p>(1 2) 選挙の経過</p> <p>(1 3) 議事の経過</p> <p>(1 4) 記名投票における賛否の氏名</p> <p>(1 5) 前各号に掲げるもののほか、議長又は議会において必要と認めた事項</p> <p>2 議事は、録音等の方法によって記録する。 (会議録の配付及び公開)</p> <p>第80条 会議録は、印刷及び電子情報化して、議員及び関係者に配付するなど、広く一般に公開する。 (会議録に掲載しない事項)</p> <p>第81条 前条の会議録には、秘密会の議事並びに議長が取消しを命じた発言及び第66条の規定により取り消した発言は、掲載しない。 (会議録署名議員)</p> <p>第82条 会議録に署名する議員は、2人とし、議長が会議において指名する。 (会議録の保存年限)</p> <p>第83条 会議録の保存年限は、永年とする。</p> <p>第2章 委員会 第1節 総則 (議長への通知)</p> <p>第84条 委員会を招集しようとするときは、委員長は、開会の日時、場所、事件等をあらかじめ議長に通知しなければならない。 (欠席の届出)</p> <p>第85条 委員は、公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに委員長に届け出なければならない。</p> <p>2 委員は、出産のため出席できないときは、出産予定日の6週間(多胎妊娠の場合にあつ</p>	<p>(1 1) 議案の提出、撤回及び訂正に関する事項</p> <p>(1 2) 選挙の経過</p> <p>(1 3) 議事の経過</p> <p>(1 4) 記名投票における賛否の氏名</p> <p>(1 5) 前各号に掲げるもののほか、議長又は議会において必要と認めた事項</p> <p>2 議事は、録音等の方法によって記録する。 (会議録の配付及び公開)</p> <p>第80条 会議録は、印刷及び電子情報化して、議員及び関係者に配付するなど、広く一般に公開する。 (会議録に掲載しない事項)</p> <p>第81条 前条の会議録には、秘密会の議事並びに議長が取消しを命じた発言及び第66条の規定により取り消した発言は、掲載しない。 (会議録署名議員)</p> <p>第82条 会議録に署名する議員は、2人とし、議長が会議において指名する。 (会議録の保存年限)</p> <p>第83条 会議録の保存年限は、永年とする。</p> <p>第2章 委員会 第1節 総則 (議長への通知)</p> <p>第84条 委員会を招集しようとするときは、委員長は、開会の日時、場所、事件等をあらかじめ議長に通知しなければならない。 (欠席の届出)</p> <p>第85条 委員は、公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに委員長に届け出なければならない。</p> <p>2 委員は、出産のため出席できないときは、出産予定日の6週間(多胎妊娠の場合にあつ</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>ては、14週間)前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして、あらかじめ委員長に欠席届を提出することができる。</p> <p>(会議中の委員会の禁止)</p> <p>第86条 委員会は、議会の会議中は、開くことができない。</p> <p>(会議の開閉)</p> <p>第87条 会議の開議、散会、中止又は休憩は、委員長が宣告する。</p> <p>2 委員長が開議を宣告する前又は散会、中止若しくは休憩を宣告した後は、何人も、議事について発言することができない。</p> <p>(定足数に関する措置)</p> <p>第88条 開議時刻後相当の時間を経ても、なお出席委員が定足数に達しないときは、委員長は、散会を宣告することができる。</p> <p>2 会議中定足数を欠くに至るおそれがあると認めるときは、委員長は、委員の退席を制止し、又は会議室外の委員に出席を求めることができる。</p> <p>3 会議中定足数を欠くに至ったときは、委員長は、休憩又は散会を宣告する。</p> <p>第2節 審査 (議題の宣告)</p> <p>第89条 会議に付する事件を議題とするとき</p>	<p>ては、14週間)前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして、あらかじめ委員長に欠席届を提出することができる。</p> <p>(会議中の委員会の禁止)</p> <p>第86条 委員会は、議会の会議中は、開くことができない。</p> <p>(会議の開閉)</p> <p>第87条 会議の開議、散会、中止又は休憩は、委員長が宣告する。</p> <p>2 委員長が開議を宣告する前又は散会、中止若しくは休憩を宣告した後は、何人も、議事について発言することができない。</p> <p>(定足数に関する措置)</p> <p>第88条 開議時刻後相当の時間を経ても、なお出席委員が定足数に達しないときは、委員長は、散会を宣告することができる。</p> <p>2 会議中定足数を欠くに至るおそれがあると認めるときは、委員長は、委員の退席を制止し、又は会議室外の委員に出席を求めることができる。</p> <p>3 会議中定足数を欠くに至ったときは、委員長は、休憩又は散会を宣告する。</p> <p><u>第88条の2 この章における出席委員には、淡路市議会委員会条例(平成17年淡路市条例第263号。以下「条例」という。)第15条の2第1項の規定により、映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができる方法(以下「オンラインによる方法」という。)で委員会に出席している委員を含むものとする。</u></p> <p>第2節 審査 (議題の宣告)</p> <p>第89条 会議に付する事件を議題とするとき</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>は、委員長は、その旨を宣告する。 (一括議題)</p> <p>第90条 委員長は、必要があると認めるときは、2件以上の事件を一括して議題とすることができる。ただし、出席委員から異議があるときは、討論を用いないで会議に諮って決める。 (議案等の朗読)</p> <p>第91条 委員長は、必要があると認めるときは、議題になった事件を職員に朗読させる。 (審査順序)</p> <p>第92条 委員会における事件の審査は、提出者の説明及び委員の質疑の後、修正案の説明及びこれに対する質疑、討論、表決の順序によって行うを例とする。 (先決動議の表決順序)</p> <p>第93条 他の事件に先立って表決に付さなければならない動議が競合したときは、委員長が表決の順序を決める。ただし、出席委員から異議があるときは、委員長が討論を用いないで会議に諮って決める。 (動議の撤回)</p> <p>第94条 提出者が会議の議題となった動議を撤回しようとするときは、委員会の承認を<u>要する</u>。 (委員の議案修正)</p> <p>第95条 委員が修正案を発議しようとするときは、その案をあらかじめ委員長に提出しなければならない。 (分科会又は小委員会)</p> <p>第96条 委員会は、審査又は調査のため必要があると認めるときは、分科会又は小委員会を設けることができる。</p>	<p>は、委員長は、その旨を宣告する。 (一括議題)</p> <p>第90条 委員長は、必要があると認めるときは、2件以上の事件を一括して議題とすることができる。ただし、出席委員から異議があるときは、討論を用いないで会議に諮って決める。 (議案等の朗読)</p> <p>第91条 委員長は、必要があると認めるときは、議題になった事件を職員に朗読させる。 (審査順序)</p> <p>第92条 委員会における事件の審査は、提出者の説明及び委員の質疑の後、修正案の説明及びこれに対する質疑、討論、表決の順序によって行うを例とする。 (先決動議の表決順序)</p> <p>第93条 他の事件に先立って表決に付さなければならない動議が競合したときは、委員長が表決の順序を決める。ただし、出席委員から異議があるときは、委員長が討論を用いないで会議に諮って決める。 (動議の撤回)</p> <p>第94条 提出者が会議の議題となった動議を撤回しようとするときは、委員会の承認を<u>得なければならない</u>。ただし、<u>会議の話題となる前においては、委員長の許可を得なければならない</u>。 (委員の議案修正)</p> <p>第95条 委員が修正案を発議しようとするときは、その案をあらかじめ委員長に提出しなければならない。 (分科会又は小委員会)</p> <p>第96条 委員会は、審査又は調査のため必要があると認めるときは、分科会又は小委員会を設けることができる。</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>(連合審査会)</p> <p>第97条 委員会は、審査又は調査のため必要があると認めるときは、他の委員会と協議して、連合審査会を開くことができる。</p> <p>(証人出頭又は記録提出の要求)</p> <p>第98条 委員会は、法第100条の規定による調査を委託された場合において、証人の出頭又は記録の提出を求めようとするときは、議長に申し出なければならない。</p> <p>(所管事務等の調査)</p> <p>第99条 常任委員会は、その所管に属する事務について調査しようとするときは、その事項、目的、方法、期間等をあらかじめ議長に通知しなければならない。</p> <p>2 議会運営委員会が法第109条第3項に規定する調査をしようとするときは、前項の規定を準用する。</p> <p>(委員の派遣)</p> <p>第100条 委員会は、審査又は調査のため委員を派遣しようとするときは、その日時、場所、目的、経費等を記載した派遣承認要求書を議長に提出し、あらかじめ承認を得なければならない。</p> <p>(議事の継続)</p> <p>第101条 会議が中止又は休憩のため事件の議事が中断された場合において、再びその事件が議題となったときは、前の議事を継続する。</p> <p>(少数意見の留保)</p> <p>第102条 委員は、委員会において少数で廃棄された意見で他に出席委員1人以上の賛成があるものは、これを少数意見として留保することができる。</p> <p>2 前項の規定により少数意見を留保した者がその意見を議会に報告しようとする場合にお</p>	<p>(連合審査会)</p> <p>第97条 委員会は、審査又は調査のため必要があると認めるときは、他の委員会と協議して、連合審査会を開くことができる。</p> <p>(証人出頭又は記録提出の要求)</p> <p>第98条 委員会は、法第100条の規定による調査を委託された場合において、証人の出頭又は記録の提出を求めようとするときは、議長に申し出なければならない。</p> <p>(所管事務等の調査)</p> <p>第99条 常任委員会は、その所管に属する事務について調査しようとするときは、その事項、目的、方法、期間等をあらかじめ議長に通知しなければならない。</p> <p>2 議会運営委員会が法第109条第3項に規定する調査をしようとするときは、前項の規定を準用する。</p> <p>(委員の派遣)</p> <p>第100条 委員会は、審査又は調査のため委員を派遣しようとするときは、その日時、場所、目的、経費等を記載した派遣承認要求書を議長に提出し、あらかじめ承認を得なければならない。</p> <p>(議事の継続)</p> <p>第101条 会議が中止又は休憩のため事件の議事が中断された場合において、再びその事件が議題となったときは、前の議事を継続する。</p> <p>(少数意見の留保)</p> <p>第102条 委員は、委員会において少数で廃棄された意見で他に出席委員1人以上の賛成があるものは、これを少数意見として留保することができる。</p> <p>2 前項の規定により少数意見を留保した者がその意見を議会に報告しようとする場合にお</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>いては、簡明な少数意見報告書を作り、委員会の報告書が提出されるまでに、委員長を経て議長に提出しなければならない。</p> <p>(議決事件の字句及び数字等の整理)</p> <p>第103条 委員会は、議決の結果生じた条項、字句、数字その他の整理を必要とするときは、これを委員長に委任することができる。</p> <p>(委員会報告書)</p> <p>第104条 委員会は、事件の審査又は調査を終わったときは、報告書を作り、委員長から議長に提出しなければならない。</p> <p>(閉会中の継続審査)</p> <p>第105条 委員会は、閉会中もなお審査又は調査を継続する必要があると認めるときは、その理由を付け、委員長から議長に申し出なければならない。</p> <p>第3節 秘密会</p> <p>(指定者以外の者の退場)</p> <p>第106条 秘密会を開く議決があったときは、委員長は、傍聴人及び委員長の指定する者以外の者を会議室の外に退去させなければならない。</p> <p>(秘密の保持)</p> <p>第107条 秘密会の議事の記録は、公表しない。</p> <p>2 秘密会の議事は、何人も秘密性の継続する限り、他に漏らしてはならない。</p> <p>第4節 発言</p> <p>(発言の許可)</p> <p>第108条 委員は、全て委員長の許可を得た後でなければ発言することができない。</p> <p>(委員の発言)</p> <p>第109条 委員は、議題について自由に質疑し、及び意見を述べるができる。ただし、委員会において別に発言の方法を決めたとき</p>	<p>いては、簡明な少数意見報告書を作り、委員会の報告書が提出されるまでに、委員長を経て議長に提出しなければならない。</p> <p>(議決事件の字句及び数字等の整理)</p> <p>第103条 委員会は、議決の結果生じた条項、字句、数字その他の整理を必要とするときは、これを委員長に委任することができる。</p> <p>(委員会報告書)</p> <p>第104条 委員会は、事件の審査又は調査を終わったときは、報告書を作り、委員長から議長に提出しなければならない。</p> <p>(閉会中の継続審査)</p> <p>第105条 委員会は、閉会中もなお審査又は調査を継続する必要があると認めるときは、その理由を付け、委員長から議長に申し出なければならない。</p> <p>第3節 秘密会</p> <p>(指定者以外の者の退場)</p> <p>第106条 秘密会を開く議決があったときは、委員長は、傍聴人及び委員長の指定する者以外の者を会議室の外に退去させなければならない。</p> <p>(秘密の保持)</p> <p>第107条 秘密会の議事の記録は、公表しない。</p> <p>2 秘密会の議事は、何人も秘密性の継続する限り、他に漏らしてはならない。</p> <p>第4節 発言</p> <p>(発言の許可)</p> <p>第108条 委員は、全て委員長の許可を得た後でなければ発言することができない。</p> <p>(委員の発言)</p> <p>第109条 委員は、議題について自由に質疑し、及び意見を述べることができる。ただし、委員会において別に発言の方法を決めたとき</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>は、この限りでない。 (発言内容の制限)</p> <p>第110条 発言は全て、簡明にするものとして、議題外にわたり、又はその範囲を超えてはならない。</p> <p>2 委員長は、発言が前項の規定に反すると認めるときは注意し、なお従わない場合は発言を禁止することができる。 (委員外議員の発言)</p> <p>第111条 委員会は、審査又は調査中の事件について、必要があると認めるときは、委員でない議員に対し、その出席を求めて説明又は意見を聴くことができる。</p> <p>2 委員会は、<u>委員でない議員</u>から発言の申出があったときは、その許否を決める。</p> <p>(委員長の発言)</p> <p>第112条 委員長が、委員として発言しようとするときは、委員席に着き発言し、発言が終わった後、委員長席に復さなければならない。ただし、討論をしたときは、その議題の表決が終わるまでは、委員長席に復することができない。</p> <p>(発言時間の制限)</p> <p>第113条 委員長は、必要があると認めるときは、あらかじめ発言時間を制限することが</p>	<p>は、この限りでない。 (発言内容の制限)</p> <p>第110条 発言は全て、簡明にするものとして、議題外にわたり、又はその範囲を超えてはならない。</p> <p>2 委員長は、発言が前項の規定に反すると認めるときは注意し、なお従わない場合は発言を禁止することができる。 (委員外議員の発言)</p> <p>第111条 委員会は、審査又は調査中の事件について、必要があると認めるときは、委員でない議員 <u>(以下この条例において「委員外議員」という。)</u> に対し、その出席を求めて説明又は意見を聴くことができる。</p> <p>2 委員会は、<u>委員外議員</u>から発言の申出があったときは、その許否を決める。</p> <p><u>3 前2項の場合において、条例第15条の2第1項の規定により、委員会がオンラインによる方法で開かれているときは、委員外議員は、オンラインによる方法で説明し、若しくは意見を述べ、又は発言することができる。</u></p> <p><u>4 委員外議員は、オンラインによる方法で説明し、若しくは意見を述べ、又は発言することを希望するときは、あらかじめ委員長に届けなければならない。</u></p> <p>(委員長の発言)</p> <p>第112条 委員長が、委員として発言しようとするときは、委員席に着き発言し、発言が終わった後、委員長席に復さなければならない。ただし、討論をしたときは、その議題の表決が終わるまでは、委員長席に復することができない。</p> <p>(発言時間の制限)</p> <p>第113条 委員長は、必要があると認めるときは、あらかじめ発言時間を制限することが</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>できる。</p> <p>2 委員長の定めた時間の制限について、出席委員から異議があるときは、委員長は、討論を用いないで会議に諮って決める。 (議事進行に関する発言)</p> <p>第114条 議事進行に関する発言は、議題に直接関係のあるもの又は直ちに処理する必要があるものでなければならない。</p> <p>2 議事進行に関する発言がその趣旨に反すると認めるときは、委員長は、直ちに制止しなければならない。 (発言の継続)</p> <p>第115条 会議の中止又は休憩のため発言が終わらなかった委員は、更にその議事を始めたときは、前の発言を続けることができる。 (質疑又は討論の終結)</p> <p>第116条 質疑又は討論が終わったときは、委員長は、その終結を宣告する。</p> <p>2 質疑又は討論が続出して容易に終結しないときは、委員は、質疑又は討論終結の動議を提出することができる。</p> <p>3 質疑又は討論終結の動議については、委員長は、討論を用いないで会議に諮って決める。 (選挙及び表決時の発言制限)</p> <p>第117条 選挙及び表決の宣告後は、何人も発言を求めることができない。ただし、選挙及び表決の方法についての発言は、この限りでない。 (発言の取消し又は訂正)</p> <p>第118条 発言した委員は、委員会の許可を得て発言を取り消し、又は委員長の許可を得て発言の訂正をすることができる。 (答弁書の朗読)</p> <p>第119条 市長その他の関係機関が、質疑に対し、直ちに答弁し難い場合において答弁書</p>	<p>できる。</p> <p>2 委員長の定めた時間の制限について、出席委員から異議があるときは、委員長は、討論を用いないで会議に諮って決める。 (議事進行に関する発言)</p> <p>第114条 議事進行に関する発言は、議題に直接関係のあるもの又は直ちに処理する必要があるものでなければならない。</p> <p>2 議事進行に関する発言がその趣旨に反すると認めるときは、委員長は、直ちに制止しなければならない。 (発言の継続)</p> <p>第115条 会議の中止又は休憩のため発言が終わらなかった委員は、更にその議事を始めたときは、前の発言を続けることができる。 (質疑又は討論の終結)</p> <p>第116条 質疑又は討論が終わったときは、委員長は、その終結を宣告する。</p> <p>2 質疑又は討論が続出して容易に終結しないときは、委員は、質疑又は討論終結の動議を提出することができる。</p> <p>3 質疑又は討論終結の動議については、委員長は、討論を用いないで会議に諮って決める。 (選挙及び表決時の発言制限)</p> <p>第117条 選挙及び表決の宣告後は、何人も発言を求めることができない。ただし、選挙及び表決の方法についての発言は、この限りでない。 (発言の取消し又は訂正)</p> <p>第118条 発言した委員は、委員会の許可を得て発言を取り消し、又は委員長の許可を得て発言の訂正をすることができる。 (答弁書の朗読)</p> <p>第119条 市長その他の関係機関が、質疑に対し、直ちに答弁し難い場合において答弁書</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>を提出したときは、委員長は、<u>職員に朗読させる</u>。</p> <p>第5節 委員長及び副委員長の互選 (互選の方法)</p> <p>第120条 委員長及び副委員長の互選は、それぞれ単記無記名投票で行う。</p> <p>2 有効投票の最多数を得た者を当選人とする。ただし、得票数が同じときは、くじで定める。</p> <p>3 前項の当選人は、有効投票の総数の4分の1以上の得票がなければならない。</p> <p>4 第1項の投票を行う場合には、委員長の職務を行っている者も、投票することができる。</p> <p>5 委員会は、委員のうちに異議を有する者がいないときは、第1項の互選につき、指名推選の方法を用いることができる。</p> <p>6 指名推選の方法を用いる場合においては、被指名人をもって、当選人と定めるべきかどうかを委員会に諮り、委員の全員の同意があった者をもって、当選人とする。 (選挙規定の準用)</p> <p>第121条 前条に定めるもののほか、委員長及び副委員長の互選の方法については第1章第4節の規定を準用する。</p> <p>第6節 表決 (表決問題の宣告)</p> <p>第122条 委員長は、表決を採ろうとするときは、表決に付する問題を宣告する。 (不在委員)</p> <p>第123条 表決の際、会議室にいない委員は、表決に加わることができない。</p>	<p>を提出したときは、委員長は、<u>その写しを委員に配布する。ただし、やむを得ないときは、朗読をもって配布に代えることができる</u>。</p> <p>第5節 委員長及び副委員長の互選 (互選の方法)</p> <p>第120条 委員長及び副委員長の互選は、それぞれ単記無記名投票で行う。</p> <p>2 有効投票の最多数を得た者を当選人とする。ただし、得票数が同じときは、くじで定める。</p> <p>3 前項の当選人は、有効投票の総数の4分の1以上の得票がなければならない。</p> <p>4 第1項の投票を行う場合には、委員長の職務を行っている者も、投票することができる。</p> <p>5 委員会は、委員のうちに異議を有する者がいないときは、第1項の互選につき、指名推選の方法を用いることができる。</p> <p>6 指名推選の方法を用いる場合においては、被指名人をもって、当選人と定めるべきかどうかを委員会に諮り、委員の全員の同意があった者をもって、当選人とする。 (選挙規定の準用)</p> <p>第121条 前条に定めるもののほか、委員長及び副委員長の互選の方法については、<u>第1章第4節の規定を準用する</u>。</p> <p>第6節 表決 (表決問題の宣告)</p> <p>第122条 委員長は、表決を採ろうとするときは、表決に付する問題を宣告する。 (不在委員)</p> <p>第123条 表決の際、会議室にいない委員は、表決に加わることができない。<u>ただし、条例第15条の2第3項の規定により、オンラインによる方法で出席している委員は、この限りでない</u>。</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>(条件の禁止)</p> <p>第124条 表決には、条件を付けることができない。</p> <p>(起立による表決)</p> <p>第125条 委員長が表決を採ろうとするときは、問題を可とする者を起立させ、起立者の多少を認定して可否の結果を宣告する。</p> <p>2 委員長が起立者の多少を認定し難いとき、又は委員長の宣告に対して出席委員から異議があるときは、委員長は、記名又は無記名の投票で表決を採らなければならない。</p> <p>(投票による表決)</p> <p>第126条 委員長が必要があると認めるとき、又は出席委員から要求があるときは、記名又は無記名の投票で表決を採る。</p> <p>2 同時に前項の記名投票と無記名投票の要求があるときは、委員長は、いずれの方法によるかを無記名投票で決める。</p> <p>(記名投票)</p> <p>第127条 記名投票を行う場合には、氏名とともに問題を可とする議員は賛成と、問題を否とする議員は反対と、所定の投票用紙に記載し、投票箱に投入しなければならない。</p> <p>(無記名投票)</p> <p>第128条 無記名投票を行う場合には、問題を可とする議員は賛成と、問題を否とする議員は反対と、所定の投票用紙に記載し、投票箱に投入しなければならない。</p> <p>2 無記名投票による表決において、賛否を表明しない投票及び賛否が明らかでない投票は、否とみなす。</p> <p>(選挙規定の準用)</p> <p>第129条 記名投票又は無記名投票を行う場合には、第28条から第31条まで及び第32条第1項の規定を準用する。</p>	<p>(条件の禁止)</p> <p>第124条 表決には、条件を付けることができない。</p> <p>(起立による表決)</p> <p>第125条 委員長が表決を採ろうとするときは、問題を可とする者を起立させ、起立者の多少を認定して可否の結果を宣告する。</p> <p>2 委員長が起立者の多少を認定し難いとき、又は委員長の宣告に対して出席委員から異議があるときは、委員長は、記名又は無記名の投票で表決を採らなければならない。</p> <p>(投票による表決)</p> <p>第126条 委員長が必要があると認めるとき、又は出席委員から要求があるときは、記名又は無記名の投票で表決を採る。</p> <p>2 同時に前項の記名投票と無記名投票の要求があるときは、委員長は、いずれの方法によるかを無記名投票で決める。</p> <p>(記名投票)</p> <p>第127条 記名投票を行う場合には、氏名とともに問題を可とする議員は賛成と、問題を否とする議員は反対と、所定の投票用紙に記載し、投票箱に投入しなければならない。</p> <p>(無記名投票)</p> <p>第128条 無記名投票を行う場合には、問題を可とする議員は賛成と、問題を否とする議員は反対と、所定の投票用紙に記載し、投票箱に投入しなければならない。</p> <p>2 無記名投票による表決において、賛否を表明しない投票及び賛否が明らかでない投票は、否とみなす。</p> <p>(選挙規定の準用)</p> <p>第129条 記名投票又は無記名投票を行う場合には、第28条から第31条まで及び第32条第1項の規定を準用する。</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>(表決の訂正)</p> <p>第130条 委員は、自己の表決の訂正を求め ることができない。</p> <p>(簡易表決)</p> <p>第131条 委員長は、問題について異議の有 無を会議に諮ることができる。異議がないと 認めるときは、委員長は、可決の旨を宣告す る。ただし、委員長の宣告に対して、出席委 員から異議があるときは、委員長は、起立の 方法で表決を採らなければならない。</p> <p>(表決の順序)</p> <p>第132条 同一の議題について、委員から数 個の修正案が提出されたときは、委員長が表 決の順序を決める。その順序は、原案に最も 遠いものから先に表決を採る。ただし、表決 の順序について出席委員から異議があるとき は、委員長は、討論を用いないで会議に諮っ て決める。</p> <p>2 修正案が全て否決されたときは、原案につ いて表決を採る。</p> <p>第3章 請願 (請願書の記載事項等)</p> <p>第133条 請願書には、邦文を用いて、請願 の趣旨、提出年月日、<u>請願者の住所及び氏名</u> <u>(法人の場合にはその名称及び代表者の氏</u> <u>名)を記載し、請願者が署名又は記名押印を</u> <u>しなければならない。</u></p> <p>2 請願を紹介する議員は、請願書の表紙に署 名又は記名押印をしなければならない。</p> <p>3 請願書の提出は、平穩になされなければなら ない。</p> <p>4 請願者が請願書(会議の議題となったもの を除く。)を撤回しようとするときは、議長の <u>承認</u>を得なければならない。</p>	<p>(表決の訂正)</p> <p>第130条 委員は、自己の表決の訂正を求め ることができない。</p> <p>(簡易表決)</p> <p>第131条 委員長は、問題について異議の有 無を会議に諮ることができる。異議がないと 認めるときは、委員長は、可決の旨を宣告す る。ただし、委員長の宣告に対して、出席委 員から異議があるときは、委員長は、起立の 方法で表決を採らなければならない。</p> <p>(表決の順序)</p> <p>第132条 同一の議題について、委員から数 個の修正案が提出されたときは、委員長が表 決の順序を決める。その順序は、原案に最も 遠いものから先に表決を採る。ただし、表決 の順序について出席委員から異議があるとき は、委員長は、討論を用いないで会議に諮っ て決める。</p> <p>2 修正案が全て否決されたときは、原案につ いて表決を採る。</p> <p>第3章 請願 (請願書の記載事項等)</p> <p>第133条 請願書には、邦文を用いて、請願 の趣旨、提出年月日<u>及び請願者の住所(請願</u> <u>者が法人の場合にあっては、その所在地及び</u> <u>名称)を記載し、請願者(請願者が法人の場</u> <u>合にあっては、その代表者)が署名又は記名</u> <u>押印をしなければならない。</u></p> <p>2 請願を紹介する議員は、請願書の表紙に署 名又は記名押印をしなければならない。</p> <p>3 請願書の提出は、平穩になされなければなら ない。</p> <p>4 請願者が請願書(会議の議題となったもの を除く。)を撤回しようとするときは、議長の <u>許可</u>を得なければならない。</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>(請願文書表の作成及び配付)</p> <p>第134条 議長は、請願文書表を作成し、議員に配付する。</p> <p>2 請願文書表には、請願書の受理番号、請願者の住所及び氏名、請願の要旨、紹介議員の氏名並びに受理年月日を記載する。</p> <p>3 請願者数人連署のものは、請願者某ほか何人と記載し、同一議員の紹介による数件の内容同一のものは、請願者某ほか何人と記載するほか、その件数を記載する。</p> <p>(請願の委員会付託)</p> <p>第135条 議長は、請願文書表の配付とともに、請願を、所管の常任委員会又は議会運営委員会に付託する。<u>ただし、議長は、常任委員会又は議会運営委員会に付託する必要がないと認めるときは、この限りでない。</u></p> <p>2 <u>前項の規定にかかわらず、議長は、特に必要があると認めるときは、所管の常任委員会に係る請願は、議会の議決で、特別委員会に付託することができる。</u></p> <p>3 請願の内容が2以上の委員会の所管に属する場合は、2以上の請願が提出されたものとみなす。</p> <p>(紹介議員の委員会出席)</p> <p>第136条 委員会は、審査のため必要があると認めるときは、紹介議員の説明を求めることができる。</p> <p>2 紹介議員は、前項の要求があったときは、これに応じなければならない。</p>	<p>(請願文書表の作成及び配付)</p> <p>第134条 議長は、請願文書表を作成し、議員に配付する。</p> <p>2 請願文書表には、請願書の受理番号、請願者の住所及び氏名、請願の要旨、紹介議員の氏名並びに受理年月日を記載する。</p> <p>3 請願者数人連署のものは、請願者某ほか何人と記載し、同一議員の紹介による数件の内容同一のものは、請願者某ほか何人と記載するほか、その件数を記載する。</p> <p>(請願の委員会付託)</p> <p>第135条 議長は、請願文書表の配付とともに、請願を、所管の常任委員会又は議会運営委員会に付託する。<u>ただし、常任委員会に係る請願は、議会の議決で特別委員会に付託することができる。</u></p> <p>2 <u>委員会の付託は、議会の議決で省略することができる。</u></p> <p>3 請願の内容が2以上の委員会の所管に属する場合は、2以上の請願が提出されたものとみなし、<u>それぞれの委員会に付託する。</u></p> <p>(紹介議員の委員会出席)</p> <p>第136条 委員会は、審査のため必要があると認めるときは、紹介議員の説明を求めることができる。</p> <p>2 紹介議員は、前項の要求があったときは、これに応じなければならない。</p> <p>3 <u>前項の場合において、条例第15条の2第1項の規定により、委員会がオンラインによる方法で開かれているときは、紹介議員は、オンラインによる方法で説明することができる。</u></p> <p>4 <u>紹介議員は、オンラインによる方法で説明</u></p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>(請願の審査報告)</p> <p>第137条 委員会は、請願について審査の結果を次の区分により<u>意見を付け</u>、議長に報告しなければならない。</p> <p>(1) 採択すべきもの</p> <p>(2) 不採択とすべきもの</p> <p><u>2</u> 採択すべきものと決定した請願で、市長その他の関係機関に送付することを適当と認めるもの並びにその処理の経過及び結果の報告を請求することを適当と認めるものについては、その旨を付記しなければならない。</p> <p>(請願の送付並びに処理の経過及び結果報告の請求)</p> <p>第138条 議長は、議会の採択した請願で、市長その他の関係機関に送付しなければならないものはこれを送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求することに決したものについては、これを請求しなければならない。</p> <p>(陳情書の処理)</p> <p>第139条 議長は、陳情書又はこれに類するもので、<u>その内容が請願に適合するものは</u>、請願書の例により処理するものとする。</p> <p>第4章 辞職及び資格の決定</p> <p>(議長及び副議長の辞職)</p> <p>第140条 議長が辞職しようとするときは副議長に、副議長が辞職しようとするときは議長に、辞表を提出しなければならない。</p> <p>2 前項の辞表は、議会に報告し、討論を用いないで会議に諮ってその許否を決定する。</p> <p>3 閉会中に副議長の辞職を許可した場合は、議長は、その旨を次の議会に報告しなければ</p>	<p><u>することを希望するときは、あらかじめ委員長に届け出なければならない。</u></p> <p>(請願の審査報告)</p> <p>第137条 委員会は、請願について審査の結果を次の区分により議長に報告しなければならない。</p> <p>(1) 採択すべきもの</p> <p>(2) 不採択とすべきもの</p> <p><u>2 委員会は、必要があると認めるときは、請願の審査結果に意見を付けることができる。</u></p> <p><u>3</u> 採択すべきものと決定した請願で、市長その他の関係機関に送付することを適当と認めるもの並びにその処理の経過及び結果の報告を請求することを適当と認めるものについては、その旨を付記しなければならない。</p> <p>(請願の送付並びに処理の経過及び結果報告の請求)</p> <p>第138条 議長は、議会の採択した請願で、市長その他の関係機関に送付しなければならないものはこれを送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求することに決したものについては、これを請求しなければならない。</p> <p>(陳情書の処理)</p> <p>第139条 議長は、陳情書又はこれに類するもので<u>議長が必要があると認めるものは</u>、請願書の例により処理するものとする。</p> <p>第4章 辞職及び資格の決定</p> <p>(議長及び副議長の辞職)</p> <p>第140条 議長が辞職しようとするときは副議長に、副議長が辞職しようとするときは議長に、辞表を提出しなければならない。</p> <p>2 前項の辞表は、議会に報告し、討論を用いないで会議に諮ってその許否を決定する。</p> <p>3 閉会中に副議長の辞職を許可した場合は、議長は、その旨を次の議会に報告しなければ</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>ならない。 (議員の辞職)</p> <p>第141条 議員が辞職しようとするときは、議長に辞表を提出しなければならない。</p> <p>2 前条第2項及び第3項の規定は、議員の辞職について準用する。 (資格決定の要求)</p> <p>第142条 法第127条第1項の規定による議員の被選挙権の有無又は法第92条の2の規定に該当するかどうかについて議会の決定を求めようとする議員は、その理由を記載した要求書を、証拠書類とともに、議長に提出しなければならない。 (資格決定の審査)</p> <p>第143条 前条の要求については、議会は、第38条第3項の規定にかかわらず、委員会の付託を省略して決定することができない。 (決定書の交付)</p> <p>第144条 議会が議員の被選挙権の有無又は法第92条の2の規定に該当するかどうかについての法第127条第1項の規定による決定をしたときは、議長は、その決定書を決定を求めた議員及び決定を求められた議員に交付しなければならない。</p> <p>第5章 規律 (品位の尊重)</p> <p>第145条 議員は、議会の品位を重んじなければならない。 (携帯品)</p> <p>第146条 議場又は委員会の会議室に入る者は、帽子、<u>外とう、襟巻、つえ</u>、傘の類を着用し、又は携帯してはならない。ただし、病気その他の理由により<u>議長の許可を得たときは</u>、この限りでない。</p>	<p>ならない。 (議員の辞職)</p> <p>第141条 議員が辞職しようとするときは、議長に辞表を提出しなければならない。</p> <p>2 前条第2項及び第3項の規定は、議員の辞職について準用する。 (資格決定の要求)</p> <p>第142条 法第127条第1項の規定による議員の被選挙権の有無又は法第92条の2の規定に該当するかどうかについて議会の決定を求めようとする議員は、その理由を記載した要求書を、証拠書類とともに、議長に提出しなければならない。 (資格決定の審査)</p> <p>第143条 前条の要求については、議会は、第38条第3項の規定にかかわらず、委員会の付託を省略して決定することができない。 (決定書の交付)</p> <p>第144条 議会が議員の被選挙権の有無又は法第92条の2の規定に該当するかどうかについての法第127条第1項の規定による決定をしたときは、議長は、その決定書を決定を求めた議員及び決定を求められた議員に交付しなければならない。</p> <p>第5章 規律 (品位の尊重)</p> <p>第145条 議員は、議会の品位を重んじなければならない。 (携帯品)</p> <p>第146条 議場又は委員会の会議室に入る者は、帽子、<u>コート、マフラー</u>、傘の類を着用し、又は携帯してはならない。ただし、病気その他の理由により<u>会議への出席に必要と認められる物であって議長にあらかじめ届け出たものについては</u>、この限りでない。</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>(議事妨害の禁止)</p> <p>第147条 何人も、会議中は、みだりに発言し、騒ぎ、その他議事の妨害となる言動をしてはならない。</p> <p>(離席)</p> <p>第148条 議員は、会議中は、みだりにその席を離れてはならない。</p> <p>(禁煙)</p> <p>第149条 何人も、議場において喫煙してはならない。</p> <p>(情報通信機器等の利用制限)</p> <p>第150条 何人も、本会議並びに常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の会議中に、情報通信機器又は書籍等を持ち込んで利用する場合は、当該会議の目的外で使用してはならない。</p> <p>(新聞紙等の閲読禁止)</p> <p>第151条 何人も、会議中は、参考のためにするもののほか、新聞紙又は書籍の類を閲読してはならない。</p> <p>(資料等印刷物の配付許可)</p> <p>第152条 議場又は委員会の会議室において、<u>資料、新聞紙、文書等の印刷物</u>を配付するときは、議長又は委員長の許可を得なければならない。</p> <p>(許可のない登壇の禁止)</p> <p>第153条 何人も、議長の許可がなければ演壇に登ってはならない。</p> <p>(議長の秩序保持権)</p> <p>第154条 全て規律に関する問題は、議長が定める。ただし、議長は、必要があると認めるときは、討論を用いなくて会議に諮って定める。</p> <p>第6章 懲罰 (懲罰動議の提出)</p>	<p>(議事妨害の禁止)</p> <p>第147条 何人も、会議中は、みだりに発言し、騒ぎ、その他議事の妨害となる言動をしてはならない。</p> <p>(離席)</p> <p>第148条 議員は、会議中は、みだりにその席を離れてはならない。</p> <p>(禁煙)</p> <p>第149条 何人も、議場において喫煙してはならない。</p> <p>(情報通信機器等の利用制限)</p> <p>第150条 何人も、本会議並びに常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の会議中に、情報通信機器又は書籍等を持ち込んで利用する場合は、当該会議の目的外で使用してはならない。</p> <p>(新聞紙等の閲読禁止)</p> <p>第151条 何人も、会議中は、参考のためにするもののほか、新聞紙又は書籍の類を閲読してはならない。</p> <p>(資料等の配付許可)</p> <p>第152条 議場又は委員会の会議室において、<u>資料等</u>を配付するときは、議長又は委員長の許可を得なければならない。</p> <p>(許可のない登壇の禁止)</p> <p>第153条 何人も、議長の許可がなければ演壇に登ってはならない。</p> <p>(議長の秩序保持権)</p> <p>第154条 全て規律に関する問題は、議長が定める。ただし、議長は、必要があると認めるときは、討論を用いなくて会議に諮って定める。</p> <p>第6章 懲罰 (懲罰動議の提出)</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>第155条 懲罰の動議は、文書により所定数の発議者が連署して、議長に提出しなければならない。</p> <p>2 前項の動議は、懲罰事犯があった日から起算して3日以内に提出しなければならない。ただし、第50条第2項又は第107条第2項の規定の違反に係るものについては、この限りでない。</p> <p>(懲罰動議の審査)</p> <p>第156条 懲罰については、議会は、第38条第3項の規定にかかわらず、委員会への付託を省略して<u>議決することはできない</u>。</p> <p>(戒告又は陳謝の方法)</p> <p>第157条 戒告又は陳謝は、議会の定める戒告文又は陳謝文によって行う。</p> <p>(出席停止の期間)</p> <p>第158条 出席停止は、10日を超えることができない。ただし、数個の懲罰事犯が併発した場合又は既に出席を停止された議員について、その停止期間内に更に懲罰事犯が生じた場合は、この限りでない。</p> <p>(出席停止期間中出席したときの措置)</p> <p>第159条 出席を停止された者がその期間内に議会の会議又は委員会に出席したときは、議長又は委員長は、直ちに退去を命じなければならない。</p> <p>(懲罰の宣告)</p> <p>第160条 議会が懲罰の議決をしたときは、議長は、公開の議場において宣告する。</p>	<p>第155条 懲罰の動議は、文書により所定数の発議者が連署して、議長に提出しなければならない。</p> <p>2 前項の動議は、懲罰事犯があった日から起算して3日以内に提出しなければならない。ただし、第50条第2項又は第107条第2項の規定の違反に係るものについては、この限りでない。</p> <p>(懲罰動議の審査)</p> <p>第156条 懲罰については、議会は、第38条第3項の規定にかかわらず、委員会への付託を省略して<u>議決することができない</u>。</p> <p>(代理弁明)</p> <p>第156条の2 議員は、自己に関する懲罰動議及び懲罰事犯の会議並びに委員会で一身上の弁明をする場合において、議会又は委員会の同意を得たときは、他の議員をして代わって弁明させることができる。</p> <p>(戒告又は陳謝の方法)</p> <p>第157条 戒告又は陳謝は、議会の定める戒告文又は陳謝文によって行う。</p> <p>(出席停止の期間)</p> <p>第158条 出席停止は、10日を超えることができない。ただし、数個の懲罰事犯が併発した場合又は既に出席を停止された議員について、その停止期間内に更に懲罰事犯が生じた場合は、この限りでない。</p> <p>(出席停止期間中出席したときの措置)</p> <p>第159条 出席を停止された者がその期間内に議会の会議又は委員会に出席したときは、議長又は委員長は、直ちに退去を命じなければならない。</p> <p>(懲罰の宣告)</p> <p>第160条 議会が懲罰の議決をしたときは、議長は、公開の議場において宣告する。</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>第7章 協議又は調整を行うための場 (協議又は調整を行うための場)</p> <p>第161条 法第100条第12項の規定による議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場(以下「協議等の場」という。)を別表のとおり設ける。</p> <p>2 前項で定めるもののほか、協議等の場を臨時に設けようとするときは、議会の議決でこれを決定する。</p> <p>3 前項の規定により、協議等の場を設けるに当たっては、名称、目的、構成員、招集権者及び期間を明らかにしなければならない。</p> <p>4 協議等の場の運営その他必要な事項は、議長が別に定める。</p>	<p>第7章 協議又は調整を行うための場 (協議又は調整を行うための場)</p> <p>第161条 法第100条第12項の規定による議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場(以下「協議等の場」という。)を別表のとおり設ける。</p> <p>2 前項で定めるもののほか、協議等の場を臨時に設けようとするときは、議会の議決でこれを決定する。</p> <p>3 前項の規定により、協議等の場を設けるに当たっては、名称、目的、構成員、招集権者及び期間を明らかにしなければならない。</p> <p>4 協議等の場の運営その他必要な事項は、議長が別に定める。</p> <p><u>(協議等の場の開催方法の特例)</u></p> <p><u>第161条の2 前条の協議等の場については、大規模な災害、重大な感染症のまん延その他やむを得ない事由により、その構成員が開催する場所に参加することが困難と認めるときは、オンラインによる方法で協議等の場を開くことができる。</u></p> <p><u>2 前項の場合において、開催方法その他必要な事項は、委員会条例の例による。</u></p>
<p>第8章 議員の派遣 (議員の派遣)</p> <p>第162条 法第100条第13項の規定により議員を派遣しようとするときは、議会の議決でこれを決定する。ただし、緊急を要する場合は、議長において議員の派遣を決定することができる。</p> <p>2 前項の規定により、議員の派遣を決定するに当たっては、派遣の目的、場所、期間その他必要な事項を明らかにしなければならない。</p> <p>第9章 補則</p>	<p>第8章 議員の派遣 (議員の派遣)</p> <p>第162条 法第100条第13項の規定により議員を派遣しようとするときは、議会の議決でこれを決定する。ただし、緊急を要する場合は、議長において議員の派遣を決定することができる。</p> <p>2 前項の規定により、議員の派遣を決定するに当たっては、派遣の目的、場所、期間その他必要な事項を明らかにしなければならない。</p> <p>第9章 補則</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
	<p><u>(電子情報処理組織による通知等)</u></p> <p><u>第162条の2 議会又は議長若しくは委員長</u> <u>(以下この条及び次条第1項において「議会</u> <u>等」という。)</u> <u>に対して行われる通知のうち</u> <u>この規則の規定において文書その他文字、図</u> <u>形その他の人の知覚によって認識することが</u> <u>できる情報が記載された紙その他の有体物</u> <u>(次項及び第6項並びに次条において「文書</u> <u>等」という。)</u> <u>により行うことが規定されて</u> <u>いるものについては、当該通知に関するこの</u> <u>規則の規定にかかわらず、議長が定めるとこ</u> <u>ろにより、議長が定める電子情報処理組織(議</u> <u>会等の使用に係る電子計算機(入出力装置を</u> <u>含む。以下この項及び第4項において同じ。)</u> <u>とその通知の相手方の使用に係る電子計算機</u> <u>とを電子通信回線で接続した電子情報処理組</u> <u>織をいう。以下この条において同じ。)</u> <u>を使</u> <u>用する方法により行うことができる。</u></p> <p><u>2 議会等が行う通知のうちこの規則の規定に</u> <u>おいて文書等により行うことが規定されてい</u> <u>るものについては、当該通知に関するこの規</u> <u>則の規定にかかわらず、議長が定めるところ</u> <u>により、議長が定める電子情報処理組織を使</u> <u>用する方法により行うことができる。ただし、</u> <u>当該通知を受ける者が当該電子情報処理組織</u> <u>を使用する方法により受ける旨の議長が定め</u> <u>る方式による表示をする場合に限るものとす</u> <u>る。</u></p> <p><u>3 前2項の電子情報処理組織を使用する方法</u> <u>により行われた通知については、当該通知に</u> <u>関するこの規則の規定に規定する方法により</u> <u>行われたものとみなして、当該通知に関する</u> <u>この規則の規定を適用する。</u></p> <p><u>4 第1項又は第2項の電子情報処理組織を使</u> <u>用する方法により行われた通知は、当該通知</u></p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
	<p><u>を受ける者の使用に係る電子計算機に備えられたファイルへの記録がされたとき（第20条、第80条、第134条第1項及び第135条第1項の規定による議員に対する通知にあっては、当該ファイルへの記録がされたとき又は議会等が、当該通知を受ける者が当該通知をすべき電子的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機（入出力装置を除く。）による情報処理の用に供されるものをいう。次条において同じ。）に記録されている事項を議長が定める方法により表示をしたものの閲覧若しくは当該事項について当該者の使用に係る電子計算機に備えられたファイルへの記録をすることができる措置をとるとともに、当該者に対し、議長が定める電子情報処理組織を使用して当該措置がとられた旨の通知を発したときのいずれか早いとき）に当該者に到達したものとみなす。</u></p> <p><u>5 議会等に対して行われ、又は議会等が行う通知のうち当該通知に関するこの規則の規定において署名し、若しくは連署し、又は記名押印すること（以下この項において「署名等」という。）が規定されているものを第1項又は第2項の電子情報処理組織を使用する方法により行う場合には、当該署名等については、当該署名等に関する規定にかかわらず、氏名又は名称を明らかにする措置であって議長が定めるものをもって代えることができる。</u></p> <p><u>6 議会等に対して通知を行い、又は議会等から通知を受ける者について対面により本人確認をするべき事情がある場合、議会等に対して行われ、又は議会等が行う通知に係る文書等のうちにその原本を確認し、又は交付する</u></p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>(会議規則の疑義に対する措置)</p> <p>第163条 この規則の疑義は、議長が決定する。ただし、議員から異議があるときは、会議に諮って決定する。</p> <p>附 則 (施行期日)</p> <p>1 この規則は、公布の日から施行する。 (経過措置)</p> <p>2 この規則の施行の日から平成17年7月3</p>	<p><u>必要があるものがある場合その他の当該通知のうち第1項又は第2項の電子情報処理組織を使用する方法により行うことが困難又は著しく不相当と認められる部分がある場合として議長が定める場合には、議長が定めるところにより、当該通知のうち当該部分以外の部分につき、前各項の規定を適用する。この場合において、第3項中「行われた通知」とあるのは、「行われた通知（第6項の規定により前2項の規定を適用する部分に限る。以下この項から第5項までにおいて同じ。）」とする。</u></p> <p><u>(電子的記録による作成等)</u></p> <p><u>第162条の3 この規則の規定（第28条第1項（第75条において準用される場合を含む。）を除く。）において議会等が文書等を作成し、又は保存すること（次項において「作成等」という。）が規定されているものについては、当該規定にかかわらず、議長が定めるところにより、当該文書等に係る電子的記録により行うことができる。</u></p> <p><u>2 前項の電子的記録により行われた作成等については、当該作成等に関するこの規則の規定により文書等より行われたものとみなして、当該作成等に関するこの規則の規定を適用する。</u></p> <p>(会議規則の疑義に対する措置)</p> <p>第163条 この規則の疑義は、議長が決定する。ただし、議員から異議があるときは、会議に諮って決定する。</p> <p>附 則 (施行期日)</p> <p>1 この規則は、公布の日から施行する。 (経過措置)</p> <p>2 この規則の施行の日から平成17年7月3</p>

淡路市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表

現 行	改 正 案																
<p>1日までの間は、第9条第2項、第36条、第58条第2項、第71条第2項、第72条第1項、第77条及び第78条第2項中「3人」とあるのは「6人」と、第14条、第16条中「2人」とあるのは「5人」と、第18条中「2人」とあるのは「6人」と読み替えるものとする。</p> <p>別表（第161条関係）</p> <table border="1" data-bbox="217 768 782 1106"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>目的</th> <th>構成員</th> <th>招集権者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全員協議会</td> <td>議案の審査又は議会の運営に関する協議若しくは調整</td> <td>全議員</td> <td>議長</td> </tr> </tbody> </table>	名称	目的	構成員	招集権者	全員協議会	議案の審査又は議会の運営に関する協議若しくは調整	全議員	議長	<p>1日までの間は、第9条第2項、第36条、第58条第2項、第71条第2項、第72条第1項、第77条及び第78条第2項中「3人」とあるのは「6人」と、第14条、第16条中「2人」とあるのは「5人」と、第18条中「2人」とあるのは「6人」と読み替えるものとする。</p> <p>別表（第161条関係）</p> <table border="1" data-bbox="839 768 1404 1106"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>目的</th> <th>構成員</th> <th>招集権者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全員協議会</td> <td>議案の審査又は議会の運営に関する協議若しくは調整</td> <td>全議員</td> <td>議長</td> </tr> </tbody> </table>	名称	目的	構成員	招集権者	全員協議会	議案の審査又は議会の運営に関する協議若しくは調整	全議員	議長
名称	目的	構成員	招集権者														
全員協議会	議案の審査又は議会の運営に関する協議若しくは調整	全議員	議長														
名称	目的	構成員	招集権者														
全員協議会	議案の審査又は議会の運営に関する協議若しくは調整	全議員	議長														